

# KGA GOLFER'S NEWS

関東ゴルフ連盟

2011年9月20日発行



関東倶楽部対抗  
**優勝**  
東千葉  
カントリークラブ



関東女子  
倶楽部対抗～報知杯～  
**優勝**  
成田東  
カントリークラブ

## 関東倶楽部対抗特集号

別冊  
付録

保存版 2011年関東倶楽部対抗  
出場全倶楽部 競技成績 男子・女子

# ONE FOR ALL の心意気

関東倶楽部対抗は、私たちKGA加盟倶楽部にとっては夢の球宴です。その主役である晴れの代表選手となれば、誇らしげに胸を張ってもよさそうですが……、ある選手がこう言いました。

「楽しくはないですよ。団体戦ではいつも、スタートティーで膝が震えます」

普段は陽気な彼に、笑顔はありません。重圧に耐えているのか、これから自分が演じるドラマの舞台となるコースを、じっと眺めています。

「結果を気にせず、のびのびやれよ！」と励ましたつもりが、彼はますます小声になって、

「個人戦はのびのびも、あきらめも、イチかバチかもありますけど、団体戦は結果です」



## 小さなドラマが生む 大きなゴルフのチカラ

撮影／増田 収(KGA広報委員)

う暗黙の感じで、2人と苦笑い」

こんな小さなドラマが、あちこちで演じられていたはず。ドラマの主役は選手ばかりではなく、応援のギャラリーの皆様にも、フェアプレー賞を授与したい想いです。祭りの跡にはゴミひとつなく、飲みかけの飲料ですら、芝の上に流されることはありませんでした。

歩きながら、彼にまた聞きました。「やっぱり、楽しかったんじゃないの？」と。すると、

「楽しくはないですよ！でも、来年も代表選手に選ばれるために、明日から自分のベストを尽くします！」

これが関東倶楽部対抗なのです。

関東ゴルフ連盟  
広報委員会委員長 塚原 裕

# KGA GOLFERS NEWS

107

2011年9月20日発行  
関東ゴルフ連盟  
Kanto Golf Association

## CONTENTS

### 関東倶楽部対抗特集号

#### 巻頭言

1 小さなドラマが生む  
大きなゴルフのチカラ  
(塚原裕KGA広報委員会委員長)

#### 決勝競技

2 関東倶楽部対抗・男子(サンヒルズカントリークラブ)

#### ブロック予選競技

- 8 新潟第1ブロック(十日町カントリークラブ)
- 10 新潟第2ブロック(小千谷カントリークラブ)
- 12 長野ブロック(立科ゴルフ倶楽部)
- 14 山梨ブロック(上野原カントリークラブ)
- 16 群馬第1ブロック(藤岡ゴルフ倶楽部・三好コース)
- 18 群馬第2ブロック(緑野カントリークラブ)
- 20 栃木第1ブロック(唐沢ゴルフ倶楽部・三好コース)
- 22 栃木第2ブロック(アローエースゴルフ倶楽部)
- 24 栃木第3ブロック(宇都宮カンツリークラブ)
- 26 茨城第1ブロック(筑波カントリークラブ)
- 28 茨城第2ブロック(フレンドシップカントリークラブ)
- 30 埼玉第1ブロック(森林公園ゴルフ倶楽部)
- 32 埼玉第2ブロック(岡部チサンカントリークラブ)
- 34 千葉第1ブロック(カナリヤガーデンカントリークラブ)
- 36 千葉第2ブロック(平川カントリークラブ)
- 38 千葉第3ブロック(千葉新日本ゴルフ倶楽部)
- 40 東京ブロック(府中カントリークラブ)
- 42 神奈川ブロック(磯子カンツリークラブ)
- 44 静岡ブロック(朝霧ジャンボリーゴルフ倶楽部)

#### 決勝競技

48 関東女子倶楽部対抗～報知杯～(相模原ゴルフ倶楽部)

#### ブロック予選競技

- 54 新潟ブロック(湯田上カントリークラブ)
- 56 長野ブロック(穂高カントリークラブ)
- 58 山梨ブロック(ヴァンテージゴルフ倶楽部)
- 60 群馬ブロック(白水ゴルフ倶楽部)
- 62 栃木ブロック(烏山城カントリークラブ)
- 64 茨城ブロック(阿見ゴルフ倶楽部)
- 66 埼玉ブロック(飯能ゴルフ倶楽部)
- 68 千葉ブロック(紫カントリークラブ・すみれコース)
- 70 東京ブロック(青梅ゴルフ倶楽部)
- 72 神奈川ブロック(横浜カントリークラブ)
- 74 静岡ブロック(朝霧ジャンボリーゴルフ倶楽部)

#### DATA FILE

- 6 男子・優勝倶楽部チーム紹介
- 46 男子・予選、決勝競技データ
- 52 女子・優勝倶楽部チーム紹介
- 76 女子・ギャラリー写真ルポ
- 78 トピックス

80 From KGA

#### 保存版 別冊付録

2011年関東倶楽部対抗  
出場全倶楽部 競技成績 男子・女子

表紙 撮影／塚越克一(KGA広報副委員長)

目次 関東倶楽部対抗・男子決勝競技開催のサンヒルズカントリークラブ 撮影／舟橋一芳(KGA広報委員)

サンヒルズカントリークラブC

千葉は強い！  
今年も上位を独占し  
東千葉CCが雪辱を果たす

平成23年度の関東倶楽部対抗決勝競技は、宇都宮市街を一望する丘陵地に展開する、36ホール構成のサンヒルズCCで開催された。

各地区ブロック予選競技に出場した全354倶楽部（エントリーは過去最高の378倶楽部）から、決勝競技に進出した54倶楽部の頂点に立ったのは、優勝候補と目されていた東千葉CCだった。

3年ぶり5度目の優勝の強豪倶楽部とはいえ、楽勝だったわけではない。同じく千葉県から出場の、新千葉CCと昨年度優勝の袖ヶ浦CCを、それぞれ5打差と7打差で、辛くもかわしての栄冠だ。

勝因について、大蔵満彦キャプテンは「途中、約1時間の雷雨による中断がありました。逆にそれを発奮材料にして、猛追に耐えました」と、選手の健闘を讃える。

会場のサンヒルズCCは、コース改造設計の段階から乗用カート利用を意



図しているため、ひな壇型の造成はしていない。カート道もプレーを妨げないように設置されている。スタートホールこそ急激な打ち下ろしになるが、全体にはゆるやかな起伏だ。

このイースト・ウエスト両コースの攻略法を、地元サンヒルズCC所属の

小川文平君は語る。「アメリカンタイプ戦略的要素が、各ホールの随所にあります。ポイントを決めて攻めない、スコアがまとまらないでしょう」

小川君は最優秀選手賞が4人いた中、ただ1人、総合9位の開催倶楽部

大震災の影響だろうか、今年各倶楽部のウェアが地味めの印象。中段写真の豊月GC佐野は「せて気分を明るくしようと、決勝用に10着、上下を既製品で揃えました」

2時59分に競技中断、3時30分には豪雨、競技再開は4時20分。夏至の昼が長い季節とはいえ、夕闇が迫っていた。



豪雨中断で夕闇迫るなか全選手がホールアウト。

入賞倶楽部



2位 新千葉カントリー倶楽部 / 445



3位 袖ヶ浦カントリークラブ / 447



4位 富士カントリー笠間倶楽部 / 449



5位 寄居カントリークラブ / 455

平成23年度 関東倶楽部対抗決勝競技

主催：関東ゴルフ連盟



優勝 東千葉カントリークラブ / 440

部対抗決勝競技

サンヒルズカントリークラブ



で獲得し「68はホームコースでの自己ベストタイです」と喜びを語る。  
Aクラスの最優秀選手賞は阪田哲男君(袖ヶ浦CC)と渋谷重氏君(新千葉CC)で、スコアは71。Bクラスのもう一人の最優秀選手賞は、豊島豊君(東千葉CC)が受賞した。この3選手は優勝から3位までを争った。千葉県下の倶楽部に所属している。千葉勢の強さは、千葉の黄金期。としてKGA年史に語り継がれよう。

関東倶楽部対抗で、過去の決勝競技の戦績(ブロック予選競技開催後)を調べると、千葉県から進出の倶楽部の強さが際立っている。千葉CCが8勝、東千葉CCと相模原GCが5勝、新千葉CCが4勝、中山CCと袖ヶ浦CCが3勝で、相模原GC以外はすべて千葉の倶楽部だ。  
「倶楽部を支える選手個人の意識でしよう。サラリーマンのサンデーゴルフア集団ですから、サンヒルズCCの指定練習日には全員が揃わず、調整が大変でした。どの倶楽部にも、チャンスはあります！」(東千葉CC・大蔵満彦監督)



思わぬ天候の激変があると、スコアの確認にはさらに集中力がいる。チーム全員が真剣な眼差し。



先にホールアウトした選手も、ただクラブハウスで雨宿りはしない。豪雨の中でも、傘の花が咲いていた。



Aクラス最優秀選手賞の渋谷重氏君(左)、阪田哲男君。



Bクラス最優秀選手賞の小川文平君(左)、豊島豊君。



左からKGA竹田理事長、サンヒルズCC須永理事、KGA内藤競技委員長、富田副理事長、篠崎常務理事。



宇都宮は「ジャズの街」。地元で活躍するトリオが、雨天中断の間もずっと演奏を続けて、皆の気持ちを明るくした。

大きなアンジュレーションにタッチを合わせるのが難問

36年間動続。西を増設した23年前の大改造で、クラブハウスの位置を20メートル下げています。ホールはフラットですが、グリーンが難しいと評判で、雨、晴天、風と気候が変動し、スピードが出すぎないように抑えました。6月は芝にはいい季節ですが、管理には危険が伴います。(サンヒルズCC・若色一夫グリーンキーパー)



東千葉カントリークラブ

勤め人集団ですから  
サンデーゴルフアワーです。

東京駅から外房線の特急で、大網駅まで48分。コースへはタクシーで20分の近さ。通勤圏だけに、大網駅前から洒落た住宅地が広がる。空気はからっとしていて、太陽の光に溢れていた。豪華なクラブハウスで、倶楽部対抗出場選手のホールアウトを待つ。この日曜は東千葉CCの月例会で、珍しく

全員が顔を揃えた。競技後、汗だくの着替えもせず、そのまま取材に応じてくれた。「サラリーマンが主体のチームなので、プレーは土日のみです。サンヒルズCCの指定練習日には行けませんでした」(大蔵満彦監督)

今年チームにとって、特別の想いがあつたようだ。大蔵監督は今期で、引退を決めていたからだ。「このチームで勝ちたい、という想いが空回りで、ブロック予選は2位に終わりました。その悔しさをバネに、決勝競技では自分を信じて集中しました」(豊島豊君)

強い！ 東千葉CCのパワー源を知りたくて、代表選手と監督に会いに、ホームコースをお訪ねした。競技を離れると意外にも……。



雄大な林間に展開する東・西36ホール。「コースが人を育てる」としたら、東千葉CCの選手は気持ちも大らかに違いな。

橋谷有造君 45歳 A型	室野 歩君 54歳 A型	岡崎公聡君 51歳 O型
27年 友人のすすめ	46年 父親が練習場を開業	8年 父親がやっていた
99 76 31	53+46=99 74 30	49+51=100 76 29
275ヤード	250ヤード	275ヤード
70回 毎月6回×1回150球	60回 なし	30回 なし
ドライバー アプローチ 藤田寛之	全部 なし 岡崎公聡	バット アプローチ 山田 勤
平常心	自分に厳しく！	飛びを復活させること
ハンディ0、常に70台	シニアオープン のベストアマ	
ゴルフ以外のんびり 早寝、規則正しい生活 読書 野球	ゴルフ なし スポーツ観戦 野球	休日なし よく食べる ロック音楽 野球
お互いにアマとして 倶楽部の代表として、 がんばっていきましょう。	チームワークを大事に、 楽しんでください。 東千葉CCは負けませんよ。	ゴルフは楽しく、明るく、 元気にがんばりましょう。

名前 山田 勤君 68歳 B型	上重 修君 64歳 A型	中川利貞君 63歳 O型	横山 彰君 62歳 O型	豊島 豊君 34歳 O型	
44年 友人のすすめ	26年 友人のすすめ	30年 父親を見て	36年 友人のすすめ	19年 父親と一緒に	
ハーフ62	117	57・58 (昔の総武CC南・北)	121	146	
76	75	74~76	78	72	
33	36	30~34	36	30	
220ヤード	250ヤード	250~260ヤード	230ヤード	260ヤード	
60回	100回	40回	70回	100回	
毎月5回×1回150球	毎月6回×1回150球	毎月15回×1回200球	毎月4回×1回150球	なし	
アプローチ なし	— バット	ドライバー なし	なし バット	全部 なし	
ジャンボ尾崎	—	アーノルド・パーマー	なし	大蔵満彦監督	
自分に厳しく、 他人に優しく	マナー	集中力とあきらめないこと	マナー	最後まで諦めない気持ち と、こだわり	
グランドシニア優勝	ミッドシニア優勝	65歳を過ぎたらいろいろな 試合に出て、実力を試してみたい	パッティングの向上	日本ミッドアマ優勝と 日本オープン出場	
休日の過ごし方 日頃の健康管理 ゴルフ以外の趣味 過去のスポーツ歴 トレーニング 好きな食べ物 苦手な食べ物	ゴルフ ウォーキング — スキー なし ジムに週2回 なんでも なし	だいたい釣り よく食べ、よく寝る 釣り スキー 野球 仕事でトレーニング 肉類 野菜	ゴルフ ウォーキング なし 釣り スキー 肉、寿司、甘いもの サラダ ナンブラー、パクチー	ゴルフ、映画鑑賞 ストレッチと歩くこと 料理、映画鑑賞 野球 ストレッチと軽い運動 肉、寿司 レバー、パクチー	ゴルフ以外のんびり 早寝、規則正しい生活 読書 野球
関東倶楽部対抗、 出場選手へひと言	来年も我が東千葉CCに、 向かってきていただきたい。	関東倶楽部対抗を 盛り上げるため、参加者 全員でがんばりましょう。	毎年、知り合いに会えるの が楽しみです。歩けなくな るまで、がんばりましょう。	関東倶楽部対抗はアマゴル ファーのお祭りです。皆でこ の大会を、盛り上げていき ましょう！	チームプレーは難しい、 でもそれ以上に楽しく素 晴らしいのが倶楽部対 抗。より多くの参加を!

スのスコア「63」のコー  
スレコード・ホルダーな  
のだ。  
中川利貞君は総武CC  
のクラチャンを6回制覇  
して、「メンタル面の  
強さには自信がありま  
す。団体戦なら、絶対に  
ゲームを捨てません」と  
頼もしい。  
ただし豊島君がファ  
ツとつぶやいた「コースに  
は自分しかいませんから  
ね」が、皆さんの考えを  
代弁しているのではない  
だろうか。  
「選手がなにを想って競  
技に臨むのか、心の内は  
わかりません。前日は  
合宿して夜は飲み会です  
が、ただリラックスして  
軽口を叩くだけです。作  
戦なんてありません」(大  
蔵監督)  
チームワークの勝利  
には違いないが、東千葉  
CCの底力はやはり個人  
の意志だろうか。すでに  
来年も「勝ちたい！」と、  
気持ちを引き締めている  
ようだ。

俱楽部が同スコアでの2  
位。昨年も2位に甘んじ  
た悔しさも、全員が心に  
秘めていたに違いない。  
「決勝競技は初出場。お  
荷物になるのではと、生  
きた心地がしませんでし  
た。それでも全員の輪に  
支えられて、改めてチ  
ーム力を実感しました」(橋  
谷有造君)  
実はこのチーム、競技  
に強い選手が揃ってい  
る。山田勤君は東千葉  
CCの倶楽部選手権を、  
10回獲得している。室野  
歩君は研修会で、西コー



室野君(上)はコース新記録、  
山田君(左)はクラチャン10  
回獲得。



倶楽部選手権杯や倶楽  
部対抗の優勝盾が、誇ら  
しげに飾られている。



「競技の後は勝っても負け  
ても、関係者を含めて全  
員で打ち上げ会をするの  
が伝統です。こうした交  
歓を兼ねて、チームが本  
当に強くなるには、10年  
はかかります」(大蔵監督)



国際級ホテルのよう  
な豪華なレストランの、  
名物は5日焼きそば(1260  
円)。カリカリの中  
華麺に、具沢山の  
海鮮あんかけ。



新潟第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 十日町カントリークラブ / 446



2位 日本海カントリークラブ / 458



3位 柏崎黒姫カントリー倶楽部 / 462



チーム一丸で猛練習。  
ホームコースで開催の  
プレッシャーを  
克服しての優勝です。  
(福原団長・談)

(右)成績掲示板の前は、人々の期待と心配そうな顔が溢れた。  
(左)手前はスコア確認中の小池競技担当委員長。



ギャラリーテントから望む  
バッティンググリーン。



新潟  
第1ブロック  
平成23年5月25日(水)  
平成22年5月25日(水)



十日町カントリークラブ つじ・信濃コース  
新潟県トップの座を巡って  
快晴の下で三つ巴の大激戦に



新潟ブロック予選競技は加盟倶楽部の大半が出場する、親睦を第一に受け継がれた大会です。決勝進出の予選ではありませんが、新潟県の倶楽部ナンバーワンを決める競技でもあり、毎年大変盛り上がる大会です。

昨年までは1ブロック制(33倶楽部)にて行い、出場人数の都合から下越地区の36ホールのゴルフ場で交互に開催していました。本年よりKGA規定に添った2ブロックに分かれての開催となり、平成元年以来、22年ぶりの当倶楽部での開催となりました。

下越地区に比べると、中越地区は雪が多く積もるゴルフ場が多く、その中でも当倶楽部は豪雪地帯です。今年の最大積雪量は3・8位と、平成になつてから一、二の多さでした。少しでも早くオープンするために、グリーンキーパーを先頭に全社員、懸命に雪消し作業に努めました。

例年4月20日前後にオープンを迎えることが多い中、今年は5月3日のオープンとなりました。KGAの下見打ち合わせやキャプテン会議も5月に入つてからとなり、関係者や出場される方々に心配ご迷惑をお掛け致しました。

大会当日は五月晴れの絶好の天候となり、熱戦が繰り広げられ、ギャラリーの皆様も多くかけつけられました。ギャラリーテントからスタート風景や最終ホールの

グリーンを観戦できたこともあり、常に状況がわかり応援しやすかつたのでは……。競技の展開は、昨年優勝(3連覇中)の日本海CCと柏崎黒姫CC、そして我がホーム倶楽部の十日町CCの三つ巴戦となりましたが、地の利を活かして十日町CCが優勝させていただきました。

雪が消えてから3週間あまり、未整備カ所が多々あったと存じます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。競技委員の皆様、関係者、各倶楽部の皆様のご協力により、本大会を無事終了できましたことを心より深く感謝申し上げます。

(十日町CC支配人・原澤 栄)

●天候晴れ 気温20度 湿度46% 風速2m/s  
●グリーンの手さ 9・5°F



豪雪との闘いに勝ち  
競技開催に間に合う

今年は雪解けが遅く、コース内に重機を入れての除雪も実施。その作業でマウンドなどを傷めれば、また完全復元の手間です。それでも皆様に緑をご提供たく、野芝の発芽を促進しました。グリーン芝は開場前日から刈り込み、競技当日には3.4ミリの高品質を確保できました。(十日町CC・南雲勝行グリーンキーパー)



オープン1週間前・グリーン排雪作業。



4月・重機による雪おこし作業。



3月・融雪剤散布。



新潟第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 新発田城カントリー倶楽部 / 475



2位 柏崎カントリークラブ / 482



3位 下田城カントリー倶楽部 / 484



大会会長の齋藤文志郎KGA常務理事。



小千谷CCの中野洋一支配人。



小千谷CCの星野徹也理事長。



Aクラスベストスコア賞の三ヶ月耕一選手。



Aクラスベストスコア賞の小林健治選手。



Bクラスベストスコア賞の川崎治選手。



三宮勇雄KGA競技委員は柏崎黒姫CCの支配人。



新潟第2ブロック

平成23年5月26日(木)



小千谷カントリークラブ  
パットの優劣が勝敗を分け  
最終競技者で決勝進出が決まる

難グリーンに  
苦戦する選手たち

本年度から新潟県の倶楽部対抗予選競技は2ブロックに別れての開催となり、小千谷CCは5月26日の開催となりました。

今年例年になく雪が多く、コースオープンが4月27日までずれ込み、昨年より半月遅いオープンとなったため、芝の生育状態が心配されましたが、満足のいく状態で倶楽部対抗予選競技を迎えることができました。

大会当日は天候晴れ、微風、気温は20度と、競技を行うには絶好のコンディションとなり、応援団はさすがに中での応援となりましたが、選手たちにはそうはいかなかったようです。

知り高4<sup>ハ</sup>に転圧をかけたグリーンは思ったより速く、ピン上からのパットは触るだけ。横からのラインも大きく曲がり多くの選手が3パットになり、前半は3時間近いペースでのラウンドになつてしまいました。コース側としては、少し反省しないといけない点でした。

そんな状況の中、優勝した新発田CCの川崎治選手(Bクラス)が73ストロークのベストスコアをマーク、2位に3打差をつけて、団体優勝に大きく貢献しました。

Aクラスでは77ストロークでイーストヒルGCの三ヶ月耕一選手と新潟GCの小林健治選手が、それぞれベストスコアをマークしました。

優勝した新発田CCは70台が2人、80台前半が4人とスコアをまとめたのが、2位の柏崎CCに7打差をつけた勝因と思われます。3位と4位の争いは熾烈で、最後の選手がホールアウトするまで決まらず、下田城CCの押見正司選手が77でホールアウト。見事逆転で下田城CCが、関東倶楽部対抗決勝競技進出を決めました。

6723<sup>ハ</sup>と決して長くはないコースでしたが、70台で回った選手が18人と少なかったのは、選手たちがグリーンとの速さに苦しんだからでしょう。グリーンを制した倶楽部の代表選手が、栄冠を手にしたのでしょう。

(小千谷CC・田村敬明)



決勝進出倶楽部が最後までつれ、成績掲示板の前で一喜一憂。

開催倶楽部、小千谷CCの代表選手と関係者の皆様。



長野ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 佐久平カントリークラブ / 449



2位 諏訪湖カントリークラブ / 463

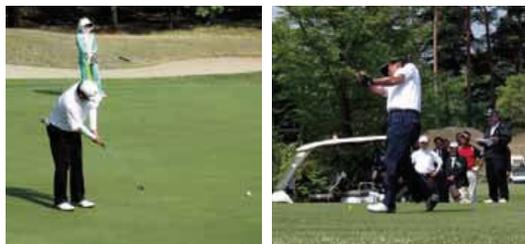


3位 塩嶺カントリークラブ / 464



4位 サニーカントリークラブ / 468

第1位の佐久平CCはキャプテンを胴上げ。



長野CCの広田文雄選手(左)と諏訪湖CCの奥本生福選手。

北アルプスを望む  
蓼科山麓の  
雄大な大自然の中で。



長野  
ブロック

平成23年5月20日(金)



立科ゴルフ倶楽部  
信州の強豪26倶楽部が覇を競い  
佐久平CCが14打差で圧勝



開場23年目を迎えた今年、権威ある大会の開催コースに選ばれたことを大変誇りに思います。同時に、無事終えることができるようにと大きなプレッシャーを抱えつつも、大会前の打ち合わせ、コースセッティング、案内表示など、関東ゴルフ連盟からの細かくわかりやすい指示のもと、大会までの準備は順調に進行していきました。

選手の皆様に集中してプレーしていただくため、コース課スタッフが全力でコースコンディションを整えてまいりました。また、参加倶楽部からの応援キャディーの皆様には気持ち良くお手伝いいただけるよう、できる限りの配慮をいたしました。

迎えた大会当日は応援キャリーの皆様も大勢ご来場いただき、成功裡に大会が開催できました。大会を通じて、いろいろなことを勉強する機会があり、倶楽部として大きく成長することができましたことも大変ありがたく、この場をお借りして深く御礼申し上げます。大会結果は14打差をつける素晴らしい好成績で、佐久平CCが優勝の栄に輝きました。当倶楽部は13位と残念な結果となりましたが、次回こそは気持ち新たにすることを期しております。

表彰式は矢野競技担当委員長の成績発表から始まり、宮坂大会会長による賞杯授与とご挨拶、そして当倶楽部の

橋詰理事長の御礼の挨拶と続き、盛会に終了いたしました。

この経験を基に、また大会開催コースとして選定いただけるよう、そしてこれからもご来場のお客様に最高のコースコンディションとクラブライフをご提供できますよう、スタッフ一同いっそうの精進をまいります。大会を支えていただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

(立科GC支配人・奥山勝志)

●天候晴れ 気温18度 南南西の風1m/S



宮坂久臣大会会長。

立科GCの橋詰理事長。



上右/ホールインワン達成の辻谷典幸選手(穂高CC)。  
上左/Aクラス・ベストスコア賞の北島一郎選手(川中嶋CC)。  
左/Bクラス・ベストスコア賞の宮島一馬選手(塩嶺CC)。

乾杯の発声は立科GCの林芳則競技委員長。



開催倶楽部、立科GCの代表選手と関係者の皆様。

山梨ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 オリムピックカントリークラブ / 463



2位 都留カントリー倶楽部 / 465



山梨 ブロック

平成23年5月19日(木)



上野原CCの富田栄一 競技委員長。 上野原CCの久木崎清人社長。 大会会長の志村和也 KGA常務理事。

左上/Aクラス・ベストスコア賞の岩波肇選手(甲府国際CC)。 左下/Bクラス・ベストスコア賞の西川直希選手(オリムピックCC)。

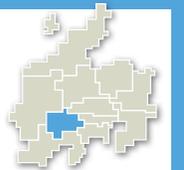
開催倶楽部 上野原CCの代表選手と関係者の皆様。



スコアの確認はチームメイトも協力して慎重に。



朝のバッシンググリーンは個人競技と違って、選手同士の会話は少ない。緊張を抑えて……。



上野原カントリークラブ

「まかせてください！」  
人海戦術でコースは完璧に



指定練習日は3日間とも生憎の雨。競技の前々日は雷と豪雨で、プレーが1時間中断。コースコンディションが心配されましたが、グリーンキーパーの「まかせてください」の一言で、コース管理課と施設課および40名のハウスキャディーが目砂とバンカー整備を行ない、当日のコンディションは最高の仕上がりととなりました。

当日は真夏を思わせるような天気で、日中は30度を超える猛暑となったため、後半はグリーンのスピードも増し、各選手ともバットに苦戦をされていました。結果は昨年に続きオリムピックCCが優勝され、ベストスコアはAクラス・Bクラスとも1アンダーの成績でした。当倶楽部としては初めての倶楽部対抗ブロック予選競技の開催でありましたが、関東ゴルフ連盟の役員、委員の皆様ならびに山梨県ゴルフ場の各支配人の皆様のご支援をいただき、各倶楽部の多数の応援を得て、熱き戦の中にも事故もなく、無事に終了することができました。

思えば3月11日の大震災で日本中が

「ゴルフをしている場合ではない」との自粛ムードとなり、お客様のキャンセルが続出いたしました。1カ月くらい経つとお客様や選手の皆様が「普通の生活に戻る」「元気になるう」との思いで来場されるようになり、大会が盛大に行われたことに、改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

皆様「ゴルフは楽しい。元気だ」と思われ、思い込むことが、ゴルフ業界・日本を元気にしていくものと確信いたしました。

がんばろう日本！ 元気になるう日本！（上野原CC支配人・稲田耕一）



群馬第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



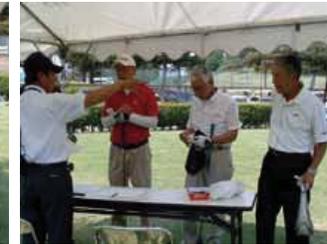
1位 赤城国際カントリークラブ / 448



2位 藤岡ゴルフクラブ / 453

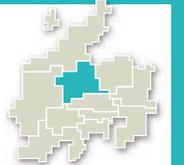


五月晴れの下  
代表選手たちの  
緊張が高まる。



群馬 第1ブロック

平成23年5月20日(金)



藤岡ゴルフクラブ  
東コース

野趣に富むコースを舞台に  
15倶楽部が熱戦を展開



当倶楽部では十数年ぶりの関東倶楽部対抗群馬ブロック予選会場となり、コースコンディションを作り出すのに大変でしたが、コーススタッフの踏ん張り、良い状態にて開催することができました。

3月には東日本大震災もあり、参加倶楽部が減少するなどもありましたが、当倶楽部での予選会であり、当チームのプレッシャーは大きいものでした。

それに打ち克ち、選手の頑張りによって、決勝大会に進むことができました。ありがとうございました。決勝競技に向けて、頑張ってくださいと思っています。

最後になりましたが、東日本大震災により被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。とともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

(藤岡GC支配人・木村好一郎)

群馬第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 伊香保カントリークラブ / 454



2位 ヘルエアカントリークラブ / 457



難グリーンへの攻略に  
選手は四苦八苦  
結果は……。

群馬 第2ブロック

平成23年5月25日(水)



緑野カントリークラブ

初開催・初突破を目指し  
緑野チームの意気高し



気温27度・風速3m/sの絶好のコンディションの中、緑野CCで開催された群馬第2ブロック予選は、震災の影響で当初の予定より2倶楽部減り、14倶楽部で行なわれました。

アウト、インそれぞれ違ったコースレイアウトと特徴的な大きなベントグリーン、ラフのマウンド群、池を攻略するために、4月に入ると各倶楽部が練習ラウンドに訪れ、念入りに戦略を練っていたようです。当日は各選手、グリーンへの速さより、グリーンへの硬さを

に苦戦していた印象がありました。

結果は、昨年も予選突破の伊香保CCが優勝、惜しくも3打差でヘルエアCCが2位に入り、2倶楽部が決勝競技出場となりました。この2倶楽部の中にはベストスコア賞の選手はおらず、8名中6名が70台と安定した選手が揃った倶楽部が、予選を突破した印象でした。

当倶楽部は初開催で、開催コースというメリットを活かして初の予選突破を目指しましたが、残念ながら昨年と同様の4位に終わりました。



急遽、開催コースが当倶楽部に変更になり、2カ月と少ない準備期間の中で何事もなく盛大に開催できたことは、競技委員長を始め関係各位のご指導ご協力の賜物だと思っております。KG A関係者および各倶楽部の関



開催倶楽部、緑野CCの代表選手と関係者の皆様。

係者に、心より感謝申し上げます。  
(緑野CC総支配人・江澤進)

緑野CCは和風建築様式の外観にふさわしく、クラブハウス内には本格的な能舞台がある。



Bクラス・ベストスコア賞の関澤誠選手(ツインレイクスCC)。



Aクラス・ベストスコア賞の大和田康夫選手(華津CC)。



栃木第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 唐沢ゴルフ倶楽部 / 450



2位 鷹ゴルフ倶楽部 / 459



唐沢GC運営委員の皆様。



10番ティーで競技委員の説明を受ける。



唐沢GCの金子コース委員長。



唐沢チームの妻倉キャプテン。



大会会長の中島篤志KGA理事。

16倶楽部の参加で決勝進出は2倶楽部となり、厳しい争いとなりました。当唐沢GCは地元開催ということで最低2位以内、決勝進出を目標に練習を重ねてまいりました。終わってみれば、地の利を活かした形で、20年ぶり2回目の優勝を飾ることができ、開場50周年に華を添える形となり、倶楽部関係者一同安堵いたしました。参加倶楽部の選手ならびに関係者各位、そして関東ゴルフ連盟競技委員各位のご支援・協力により、本大会が無事終了することができましたことを、心より感謝申し上げます。(唐沢GC 取締役支配人・神崎英興)



美しい植栽の  
ステージで  
選手の妙技が光る。



栃木  
第1ブロック



唐沢ゴルフ倶楽部 三好コース  
20年ぶりのブロック優勝で  
開場50周年に華を添える



今年当初18倶楽部の申し込みがあり、決勝進出は3チームの予定でしたが、震災により2倶楽部の辞退があり、なんとトラブルもなく、順調に進行しました。当日は朝から降り出した雨も9時前には上がり、曇天ながらまずまずの天候に恵まれました。アウト・インとも遅れることなく、定刻にスタート。なんらトラブルもなく、順調に進行しました。今年当初18倶楽部の申し込みがあり、決勝進出は3チームの予定でしたが、震災により2倶楽部の辞退があり、なんとトラブルもなく、順調に進行しました。



当倶楽部は今年4月に開場50周年を迎え、この倶楽部対抗競技を50周年記念行事の一環と位置づけ、引き受けを決定し準備を進めてまいりました。当倶楽部では昨年、関東シニア選手権予選競技を開催するなど、毎年KGA主催競技やKGAジュニアスクールを開催してまいりましたが、この関東倶楽部対抗予選競技は昭和51年以来、35年ぶりの開催となりました。会場を引き受ける際、心配しておりまして200名を超える選手および関係者の朝食、駐車場、応援団席の確保についても、大きなトラブルもなく円滑に推移しました。当日は朝から降り出した雨も9時前には上がり、曇天ながらまずまずの天候に恵まれました。アウト・インとも遅れることなく、定刻にスタート。なんらトラブルもなく、順調に進行しました。

200人を超える朝食もスムーズに。

栃木第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 鹿沼カントリー倶楽部 / 461



2位 草月ゴルフ倶楽部佐野コース / 466



アローエースGCの安田隆太郎  
競技委員長。

大会会長の篠崎勝宏  
KGA常務理事。



アローエースGCの運営委員。左から長濱秀彰委員、北村豊喜委員、石黒恵委員。

13本の倶楽部旗の下、  
104人の精鋭が  
激戦に臨む。



栃木 第2ブロック

平成23年5月26日(木)



アローエースゴルフクラブ  
震災被害から復興し  
14年ぶりの開催へ全力で



競技当日は朝から天候に恵まれ、好コンディションとなりました。当初は参加17倶楽部でしたが東日本大震災の影響で参加は13倶楽部となりました。しかし参加された倶楽部の選手や応援に来られた皆様は大変な熱気で、震災の苦勞も吹き飛ばすかのように盛り上がった大会となりました。

競技の結果は1位が鹿沼CC、2位が草月GC佐野となり、両倶楽部とも昨年に続いての決勝進出となりました。

当倶楽部では14年ぶりの開催でしたが、KGA競技委員や会員の皆様、参加倶楽部の皆様など、様々な方々に協力いただいたお蔭により、無事競技を終了することができました。

3月の大震災では、当倶楽部でもコース内の亀裂やカート道の断線などの被害を受け、一時は開催断念も懸念されましたが、コース管理部門の早急な復旧対応や手厚いコース整備、そして会員の皆様の熱意もあり、開催できたことに心より感謝しております。

表彰式の席では、競技委員の皆様や参加倶楽部の選手の方々より、コース状態に関してお褒めの言葉を多数いただき、関係者一同、開催準備の苦勞が報われたように感じました。

今後も今回の経験を活かし、皆様にご満足のいただけるような、倶楽部運営に励んで行く所存です。

(アローエースGC支配人・吉田 亨)



開催倶楽部、アローエースGCの代表選手と関係者の皆様。

●天候晴れ 最高気温20度 微風  
●グリーンは速きOFF  
6062Y P 72

栃木第3ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 宇都宮カンツリークラブ / 464



2位 デイアレイクカントリー倶楽部 / 469



3位 ファイブアイトゴルフクラブ / 471



右、高橋一雄競技担当委員長。  
左、大会会長の荒井祥KGA理事。

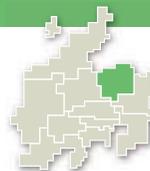


東に筑波山  
西に男体山を遠望する  
丘陵コースを舞台に。



栃木  
第3ブロック

平成23年5月25日(水)



宇都宮カンツリークラブ 北・中コース  
地元開催の利を活かして  
連続で決勝競技に進出の榮譽



昨年の関東女子倶楽部対抗栃木ブロック予選競技に続き、男子栃木第3ブロック予選競技を開催させていただきました。平成13年度以来、4度目の開催となります。

昨年の経験が活かせるか、運営面に関してはKGA事務局の指導により特別な心配はありませんでしたが、各倶楽部の代表選手が集う本大会でしたので、コースの整備が最重要課題となり、重点的に準備を進めてまいりました。

競技当日、心配された天気もまずまず。最高気温24度、微風、気になる雷の子報もなし。選手は思う存分に腕をふるえる状況にありました。

各倶楽部の関係者および応援団の方々も、早朝よりギャラリープラザに陣取り、熱戦を見つめる光景はいつもながらに、倶楽部対抗競技への熱意を感じました。

当倶楽部の選手団は例年どおり3月に結団式を行ない、地元開催である今回は、ぜひ優勝をと意気込んで練習に励んでまいりました。その甲斐あつてか昭和48年の初開催での初優勝以来、14度目のブロック予選競技優勝を成し遂げ、昨年に続き決勝競技に出場することができました。ご声援いただいた多くの皆様には厚くお礼申し上げます。

そして、今回も無事終了できましたことにつき、携つて下さった高橋競技担当委員長始め、競技委員の皆様には深く感謝を申し上げます。

2年続けて倶楽部対抗競技を開催させていただきました。数多くのことを学びました。今後も、このような大会を開催するに相応しい倶楽部であり続けるために、従業員一同より一層努力していく所存でございます。

(宇都宮C.C. 副支配人・福田忠幸)



いつも笑顔の  
絶えないチームを

年齢が高く、キャリアの長い会員が多いです。私自身も若い頃からのスポーツマンの経験で「いつもチームは笑顔で、なにかあろうと眉を八の字(しかめ面)にするな」と説きます。新入会員の面接でも細かくは言わず「自分に厳しく、人に優しく」を、自覚していただきます。(宇都宮CC・高田好一キャプテン)



茨城第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 扶桑カントリー倶楽部 / 466



2位 富士カントリー笠間倶楽部 / 486



3位 水戸グリーンカントリークラブ / 487

- 天候晴れ 気温22度 午前10時、26度 午後2時、時々強風あり
  - 本グリーンの速さ10F 硬さ13 刈り高3.4mm 6798Y P72
- (筑波CC支配人・海原茂喜)



茨城 第1ブロック  
平成23年5月16日(月)



筑波カントリークラブ  
祭典に相応しい白熱の展開  
ギャラリーテントは交歓の笑顔



競技当日は朝から天気良好。しかし風は強く、グリーンも極めて硬く速さもあり、選手の方々には緊張の中、気の抜けないプレー展開となりました。

平常はフラットな林間コースなのでOBの少ないコースではありますが、強風のためOBが多発し、スコアメイクに苦労された中、さすがに選り優りのプレーヤー、「な！ なんと！」72のベストスコアが2人(扶桑CC、穴戸ヒルズCC)いらっしゃいました。

また会場づくりにおいては、2カ月前に起きた東日本大震災では茨城県も被災県であり、農家の風評被害も出ていることから、あまり派手な会場はいかがかと声もありました。その結果、赤白黄色の各倶楽部の団旗を撮影用の持参はOKとしましたが、立て並べることは中止となりました。テントについても賛否両論ありましたが、多くの倶楽部の希望もあり、第1駐車場をテント村にした結果、当日は和気あいあいと各倶楽部の応援者が、選手とともに楽しい1日を過ごされていました。

さて競技の展開は各選手緊張の中、熱戦が繰り広げられ、扶桑CCと茨城パシフィックCCとのせめぎ合いで進み、その展開に大勢の皆様が一喜一憂でした。スコア掲示板に一人ひとりのスコアが記入される毎、どよめきがあり、白熱した戦いとなりました。優勝杯は、昨年の茨城第1ブロック予選競技会場の扶桑CCが獲得しました。

表彰式も大拍手の中で無事終了し、各倶楽部の関係者より「ありがとうございました」との声が多くあり、当倶楽部のスタッフを含め、安堵と喜びの一日でありました。



開催倶楽部、筑波CCの代表選手と関係者の皆様。

茨城第2ロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 茨城ゴルフ倶楽部 / 469



2位 セベ・バレストロスゴルフクラブ / 471



3位 土浦カントリー倶楽部 / 484

開催倶楽部なら  
ではのプレッシャー

通常は研修会からの選考を、今回は地元開催なので会員に呼びかけ、6回の選考会での選抜。合計480は案に切れる選手団も、コースを知るが故のプレッシャーで惜敗です。当倶楽部はハウスキャディー制で、全員顔なじみです。ただし他倶楽部への礼節として、馴れ馴れしい振る舞いは禁止としました。(フレンドシップCC・坂本勝治キャプテン)



がんばろう日本！  
ガンバろう東北！  
頑張ろう茨城！

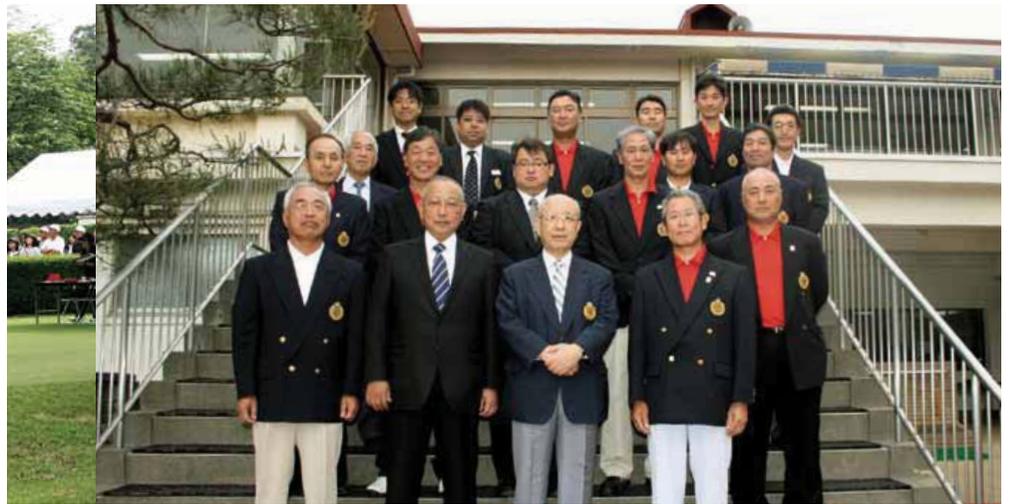
アテスト終了まで競技は終わらない。



関係者で混雑する成績表掲示板前。



左よりフレンドシップCCの村山政志社長、ベストスコア賞(A)の島村誠選手、茨城GCの稲富精之助氏、吉野統治競技担当委員長、大会会長の塚原裕KGA常務理事。



フレンドシップCCの役員、代表選手、大会運営事務局の皆様。

フレンドシップCCのキャディー部、総務部、レストランの皆様。



応援にも力が入る。応援ブースも盛り上がる。



茨城第2ロック

平成23年5月16日(日)



フレンドシップカントリークラブ  
23年ぶりの自コース開催は  
経験ゼロから全員参加で



今大会開催当日の5月16日までは震災後、幾多の困難が待っていました。当倶楽部も茨城県西地区に立地しており、震災当日は震度6強という、未だかつて体験したことのない揺れにより、クラブハウスの天井や空調吹き出し口などが何カ所も崩落し、空調機器そのものも破損するなどの被害が生じたため、震災の翌日より1週間のクローズを余儀なくされました。

一時は今大会そのもの中止もあり得る状態でしたが、3月末に変更なく正式に開催することが決定し、これまで以上に気合いを入れ、心を込め、一所懸命に準備を進めてまいりました。

当倶楽部でのブロック予選競技が開催されましたのは、遡ること23年前になります。当時を知る者は若干名であり、ほぼ従業員全員が未経験といった状況下で、支配人を中心に「笑顔で帰そう。見せようフレンドシップCCのホスピタリティ」のスローガンを掲げて、職員で構成する特別運営委員会を発足させました。また同時に当倶楽部分科委員会のフレンドシップ、競技、ハンディキャップの3委員会を中心に、会員有志の方々を加えました準備委員会(ボランティアスタッフ)を結成しました。この二本柱で情報を共有しながら、円滑な運営を行うために努力を続け続けてまいりました。

競技当日は天候にも恵まれ、また怪我人や進行への大きなトラブルもなく、無事に終了することができたので、本当に良かったと思っております。

結果的に競技出場選手の皆様や、各倶楽部関係者の皆様、また応援の方からもお褒めの言葉を頂戴いたしました。ゴルフ場冥利に尽きることの上なく思いました。と同時に、このフレンドシップCCから、世の中を少しでも元気にすることができたのなら、そして少しでも幸せを感じていただけなのだと思います。今大会は日本ゴルフ史上においても、特別な大会となったと思われれます。

(フレンドシップCC支配人・村山友彦)

埼玉第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 廣済堂埼玉ゴルフ倶楽部 / 473



2位 大宮国際カントリークラブ / 477



3位 埼玉ゴルフクラブ / 479



大会会長の高橋正孝KGA副理事長。

開催倶楽部、森林公園GCの代表選手と関係者の皆様。



強豪ひしめく  
激戦区で  
緊迫した闘い。



埼玉 第1ブロック

平成23年5月17日(火)



森林公園ゴルフ倶楽部

上位6倶楽部が8打差の大接戦。決勝進出は……

5月17日(火)、関東倶楽部対抗埼玉第1ブロック予選競技が当倶楽部で開催されました。本大会に参加してまだ6年と浅く、大会の雰囲気やプレッシャーを感じながらの設営でした。コース整備はもちろん、グリーンの状態、景観等を含め、できる限りの好条件を設定すべく努力しました結果、皆様よりお誉めの言葉をいただきました、ホッとしました次第です。

当日は曇のち雨といった予報ではありましたが、強運の方々が多く、また皆様の願いも通り、朝の受け付け時間の6時には日差しがコース全体を生き生きと映し、各選手も多くのギャラリーの声援を受けながら、7時30分の定刻どおりスタートして行きました。

従来、開催倶楽部の順位をみるとほとんどが上位に入っており、今まで上位入賞のない当倶楽部にとっては、最良のチャンスが巡ってきたと、誰もが考えておりました。



しかし現実には厳しく、選手達には開催倶楽部としてのプレッシャーが大きいのが掛かって日頃の成果が出せず、19倶楽部中18位の結果に終わりました。

優勝チームは昨年に続いて廣済堂埼玉GC、2位は大宮国際CC、3位は埼玉GCが入りました。埼玉第1ブロックからの決勝進出倶楽部として、決勝競技での健闘をお祈りいたします。

当倶楽部としてはすべてが初めてづくしの大会でしたが、従業員一同一致団結しての運営に大いに満足し、表彰式も順調に進み、次回開催倶楽部のご挨拶を最後に、17時10分閉会となりました。

また、今大会運営に数々の情報、ご指導をいただいた各倶楽部の方々に感謝申し上げますとともに、関東ゴルフ連盟の役員の方々に厚く御礼申し上げます。

(森林公園GC支配人・山下由二)

埼玉第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 岡部チサンカントリークラブ / 458



2位 寄居カントリークラブ / 475



3位 高坂カントリークラブ / 483



昼食で表彰式で、交歓の輪が広がる。



大会会長の高橋正孝KGA副理事長から表彰を受ける、岡部チサンCCの小川透キャプテン(左)。

上、Bクラスベストスコア賞の前田男選手。下、Aクラスベストスコア賞の畠田進選手。



ベストスコア賞は  
A、Bクラスとも  
開催倶楽部代表が獲得!

埼玉 第2ブロック

平成23年5月20日(金)



岡部チサンカントリークラブ  
美里コース  
3選手がホールインワンを  
達成したハイレベルな展開

平成23年5月20日の晴天の中、関東倶楽部対抗埼玉第2ブロック予選競技が当倶楽部にて開催されました。日頃より競技志向の高い多くのメンバー様に、十分ご満足いただけるコースメンテナンスを心掛けておりますが、「より良いコースコンディションで、選手の皆様に最高のプレーをしていただく」をモットーに、コース管理課を筆頭に全従業員一丸となり、準備を進めてまいりました。

当日は早朝からご来場いただきましたギヤラリーの皆様による熱心な応援、出場選手に対する控え選手の親身になった素晴らしいサポートも随所に見受けられ、とても爽やかで楽しい競技となりました。

また1日で3名ものホールインワン達成選手が出るという、非常に珍しい予選競技でもありました。

準備・開催にあたり、競技委員の皆様、大会関係者の皆様、各倶楽部の皆様、ご来場の皆様、ご協力により、無事ブロック大会を終了できましたことに、心より感謝申し上げます。(岡部チサンCC支配人・田村浩平)



●天候晴れ 気温30度  
●グリーンコンディション スティンブメーター  
10.5 F コンバクション13 刈り高3.8mm  
●美里コース6788Y P72



千葉第1ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 習志野カントリークラブ / 453



2位 東千葉カントリークラブ / 456



3位 千葉国際カントリークラブ / 464



上 / 優勝した習志野CCの宮辰夫キャプテン(右)は、70でAクラスのベストスコア賞も獲得。大会会長の渡邊満之助KGA常務理事。  
右 / カナリヤガーデンCCの宮本隆則競技委員長。



11フィートの高速グリーンを選手たちは果敢に攻める。

揃いの黄色いウェアで「カナリヤ軍団」(スタッフ)がサービスに徹す。



千葉第1ブロック  
平成28年5月17日(火)



カナリヤガーデンカントリークラブ

「やれることをやる！」  
完遂の安堵感に思わず涙……

3月11日の大震災以来、今年の倶楽部対抗を始めとした競技の開催は、一体どうなるのだろうか？ KGA関係者の方々、千葉県ゴルフ協会の皆様、そして我が倶楽部のスタッフ一同が、準備期間を不安とともに過ごしたことを覚えています。KGAより「開催します！」と正式回答をいただいた時は、正直に申しまして不安ばかりが先走りする状態でした。

しかしながら、選手たちの練習ラウンドがいざ始まるようになった頃から、通常の営業においても徐々に元気が出て始めてまいりました。「やるなら徹底的にやろう！」をスローガンに関東倶楽部対抗プロジェクトを発足させ「全部署参加で大成功を勝ち取ろう！」と気合を入れて準備を開始いたしました。私を含めて全社員が、初めての経験となることでありましたが、サービスマスターの原点到還り、ご来場いただくすべての方々に、最高のコンディションと笑顔のサービスをご提供することをモットーに、プロジェクトリーダーを中心に準備・運営を行った次第であります。

当日はもう全員で「やれることをやる！」と、各自が責任を自覚し、部署に関係なく駐車場整理からキヤラリー誘導に至るまですべて社員・スタッフで行いました。



●天候曇り 気温20度 南南西の風3m/s 湿度78%  
●グリーンの手ざり11F ベネトロ  
メーターの硬さ10 山中式の硬さ628 6705Y P72

決してプロの対応ではなかったと思いが、一生懸命さがお客様に伝わったのか、スタッフの対応に関してはノークレーム。さらにグリーンなどのコース状態にしましても、たくさんの方々からお褒めの言葉をいただきました。終了後、幹部たちが喜びと感動で抱き合っており、涙ぐましい光景が今でも目に焼き付いております。

私もカナリヤガーデンCCは惜敗となりましたが、社員全員のモチベーションが上がって、成長させていただいた今回の関東倶楽部対抗の運営でした。多くの感動をありがとうございました！皆様に心より感謝。

(カナリヤガーデンCC取締役COO・木庭大輔 倶楽部対抗担当者・池田尚也)



開催倶楽部、カナリヤガーデンCCの代表選手と関係者の皆様。

千葉第2ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 新千葉カントリー倶楽部 / 482



2位 千葉カントリークラブ / 487



3位 館山カントリークラブ / 491

プレーヤーの皆様  
に最高の喜びを

天候に恵まれ、計画どおり朝晩の刈り込みと、2日に1回の転圧作業ができました。競技当日は皆様に分存にお楽しみいただけるよう、プロ競技並みの設定にまで近づけました。ナイスショットは好結果に、逆にミスショットには少し厳しかったかもしれませんが。(平川CC・武田正人コース管理部長)



●天候晴れ 気温25度 風速5 m / s  
●全長6767Y P72



平川CCの運営委員の皆様。



開催倶楽部、平川CCの代表選手と関係者の皆様。



優勝候補に互して健闘。  
決勝進出はならなかったが  
笑顔の平川チーム。



右から大会会長の富田浩安KGA副理事長、平川CCの八巻キャプテンと近藤支配人。



右、Aクラスベストスコア賞の  
桜井延秋選手(新千葉CC)。  
左、Bクラスベストスコア賞の  
近藤惇朗選手(小御門CC)。

千葉  
第2ブロック

平成28年5月16日(月)



平川カントリークラブ  
超高速グリーンに慣れている  
平川勢も1打届かず……



関東倶楽部対抗競技は、当倶楽部としては平成13年から参加させていたが、今年で11回目の参加となりました。そして今回は初めて千葉県第2ブロック予選競技の開催をお受けすることになり、倶楽部として円滑な運営ができるよう、早い時期から準備を進めて当日を迎えることになりました。

開催倶楽部にとってはなにより、コースコンディションをベストに仕上げることに求められますので、コース管理部門を中心として努力を重ね、まずは満足できる状態に仕上げるのができたと思っております。

またコースにとって、当日の天候がなによりも気がかりなことであり、祈るような気持ちで当日を迎えましたが、幸い一日を過ぎて好天で安堵しました。当日は6時を過ぎた頃より、参加21倶楽部の選手ならびに応援の方々が続々と来場され、大変活気のある雰囲気の中で競技が開催されました。

競技の運営につきましては、酒巻競技担当委員長を始めとする競技委員の方々のご尽力によりスムーズに進行し、ほぼ予定どおり終了することができました。特に当日のグリーンのコンディションが速さ12段、コンバクション14(ベネトローメーター)ぐらいになりましたので、これがプレーの進行に影響する心配もありましたが、ほぼ予定どおり進行しホッとしました。

当倶楽部としては初めての開催で慣れないこともあり、ご不便をおかけした点もあったと思いますが、参加倶楽部の方々のご協力もあり、無事終了することができました。

なお競技に関して我が倶楽部は、選手諸君も大健闘しました。残念ながらワンストロークの差で決勝進出を逃しましたが、今までベストの第4位という成績でした。

競技が終了し成績も確定しての表彰式は、選手ならびに関係者の方々のご参加により、にぎやかに大変良い雰囲気の中で開催されました。

(平川CC支配人・近藤 勉)

千葉第3ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 袖ヶ浦カンツリークラブ / 439



2位 千葉新日本ゴルフ倶楽部 / 450



関東屈指の広大なフェアウェイを有する千葉新日本GCは、ギャラリーテントのスペースも広々と。



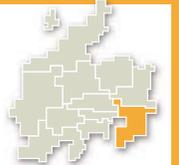
3位 鹿野山ゴルフ倶楽部 / 450



前年の覇者、袖ヶ浦CCが圧倒的な強さを発揮。

千葉 第3ブロック

平成23年5月17日(火)



千葉新日本ゴルフ倶楽部  
外房コース

初めての試み、努力の先に  
決勝初進出の喜びが待つ

千葉第3ブロック予選競技が、千葉新日本GCにて開催されました。今回、当倶楽部で予選競技が行われるのは初めての試みで、どのように進めていけばよいのか、苦難の連続でした。しかし各スタッフが分担の役割りに責任を持ち、協力し合いながら行えた結果だと感じております。

開催日までの天候が前線・低気圧の影響により曇りや雨の日が多く、大会当日も読めない天候でした。当日は曇りでそれほど暑さもなく、涼しい環境で行うことができました。出場倶楽部より選出された選手による熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

予選競技が終了し、懇親会の時に大雨になりましたが、天候に恵まれたと思います。また各ゴルフ場関係者、出場選手の家族などが多数来場され、親睦を深めることができました。

当日は安全第一に考え、打球事故などの防止のために、観戦区域を限定させていただき、関係各位のご理解・ご協力とギヤラリーの方々素晴らしいマナーにより、円滑に競技運営させてい



Aクラス・ベストスコア賞の阪田哲男選手(袖ヶ浦CC)の活躍が光る。

いただきましたことを感謝します。

今回、開催倶楽部の地の利を活かし、初めて第2位という好結果で、決勝競技に駒を進めることができました。出場選手はもとより、倶楽部会員・関係者の驚きと喜びは一人でした。

開催にあたり、ご尽力いただきました方々に、心より御礼申し上げます。

(千葉新日本GC営業部・細田祐吾)

- 天候曇り 気温最高27度 ほぼ無風
- グリーン ベント(旧グリーン、ベンクロス)
- A・Bクラス外房 6805Y P72

東京ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 東京五日市カントリー倶楽部 / 474



2位 青梅ゴルフ倶楽部 / 486



1番スタートの様子。



最終ホールを見守る応援団。



スコアボードの前には多くのギャラリーが。



4打差で決勝進出を逃すも  
府中CCの健闘光る。



府中CCの代表選手と関係者の皆様。

平成23年5月16日(日)

東京ブロック

府中カントリークラブ

東京五日市CCが独走  
2位から5位は白熱の大混戦!



過の青梅GCとなりました。2位から5位までは混戦で、2位の決勝進出は最終組の選手のスコア次第となったこともあり、最後まで大いに盛り上がりました。

このような未曾有の環境下において、本大会を無事終了できましたことは、大会会長の佐藤敏明様、藤堂競技担当委員長を始めとする競技委員ならびに運営委員の皆様、そして各倶楽部の関係者の皆様のご指導ご協力があったとのことと思います。この場をもつて皆様に御礼申し上げます。

(府中CC支配人代行・内田裕憲)

関東倶楽部対抗東京ブロック予選競技が、当倶楽部において開催。本年度は東日本大震災および福島原発事故と、それに伴う計画停電の実施など、未曾有の事態により競技会の開催自体も危ぶまれましたが、東京ブロックの全14倶楽部参加の下、無事に開催、終了することができました。

当倶楽部での開催は平成9年以来14年ぶりということで、前回の運営記録を基に改善点などを整理の上、準備に当たりましたが、一時は計画停電により、競技中に停電した場合の対応についても検討を要するなど、未経験かつ不測の部分もあり、色々と不安を抱えながらの準備でした。

コースについては春先の天候不順により、グリーンコンディションが思うように上がらず苦戦を強いられましたが、グリーン委員会、コース管理課の懸命な努力により、ほぼ設定目標に近いコンディションで、競技当日を迎えることができました。

競技当日は早朝から、各倶楽部の応援団の方々が多く来場されました。倶楽部対抗独特の雰囲気の中、緊張した面持ちの選手が多く見られましたが、競技が始まると熱心な声援に応えるような、素晴らしいプレーが展開されました。

決勝進出倶楽部は、断トツの1位通過となった東京五日市CCと、2位通過

競技当日は早朝から、各倶楽部の応援団の方々が多く来場されました。倶楽部対抗独特の雰囲気の中、緊張した面持ちの選手が多く見られましたが、競技が始まると熱心な声援に応えるような、素晴らしいプレーが展開されました。

決勝進出倶楽部は、断トツの1位通過となった東京五日市CCと、2位通過

競技当日は早朝から、各倶楽部の応援団の方々が多く来場されました。倶楽部対抗独特の雰囲気の中、緊張した面持ちの選手が多く見られましたが、競技が始まると熱心な声援に応えるような、素晴らしいプレーが展開されました。

決勝進出倶楽部は、断トツの1位通過となった東京五日市CCと、2位通過

競技当日は早朝から、各倶楽部の応援団の方々が多く来場されました。倶楽部対抗独特の雰囲気の中、緊張した面持ちの選手が多く見られましたが、競技が始まると熱心な声援に応えるような、素晴らしいプレーが展開されました。

決勝進出倶楽部は、断トツの1位通過となった東京五日市CCと、2位通過



神奈川県ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 東名厚木カントリー倶楽部 / 465



2位 秦野カントリークラブ / 473



3位 横浜カントリークラブ / 475



4位 大厚木カントリークラブ / 476



とめた東名厚木CCが圧勝した。大久保氏の愛弟子が務めるキーパーが丹精こめて完成させた速いグリーンに、腕自慢も手を焼いたことが数字からうかがえた。

成績の集計が進むに連れて、9番グリーン奥の桜の木の下ががしましい。そこは各倶楽部用にテントが設けられ、応援席になっていた。順位が上がったり下がったりするたびに歓声のため息。戦いすんで日が暮れて、クラブハウスで表彰式が始まるころ、各倶楽部の女性群がテントからゴミを一つ残さず持ち帰る姿があった。「あれを見て、大会を引き受けて良かったと思えました」と、支配人は満足げだった。

(コラムニスト・久保田誠一)



大会会長の廣幡忠淳KGA常務理事の挨拶。



成績掲示板の前はため息と歓声。



爽やかなコースで  
爽やかな風に吹かれて  
倶楽部旗がなびく。



神奈川県  
ブロック

平成23年5月16日(日)



磯子カントリークラブ  
24倶楽部・144選手が激戦！  
球宴後は応援団の気配り



クラブハウス前の芝地に、参加24倶楽部の旗が南風になびいている。白、ブルー、紫、黒、赤と様々で、フランス国旗に似た3色旗もある。倶楽部旗がこれほど揃うのは、倶楽部対抗ならではの光景だろう。旗が減っていくご時世で、なにかほっとする思いがした。

日本だけではなく欧米でも競技を取材しているが、ここには私がこれまでに経験したことのない独特の雰囲気漂っていた。

倶楽部を代表して6人がプレーし、倶楽部の会員が揃いのプレーザー、シャツを着て応援する。決勝に進むためにプレーヤーはしるぎを削るわけだが、競技会にありがちな殺気だった緊張感はなく、会員の年齢を超えた連帯感が会場を包んで、和やかで爽やかである。

磯子CCは館黎児氏設計により59年5月に開場した。横浜の近郊に位置し、地の利と眺望にも恵まれたコース。オーナーの依頼で大久保昌氏が87年から改造を続け、高齢者のプレーを念頭に入れた「楽しい品のあるコース」に仕立て上げている。

私は6640ヤと比較的距離のないコースでどんなスコアが出るのか、掲示板のスコアを注視していたが、アンダーパーは1人で、6人中5人が70台でま



開催倶楽部、磯子CCの代表選手と関係者の皆様。

静岡ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 富士チサンカントリークラブ / 463



2位 富士宮ゴルフクラブ / 469



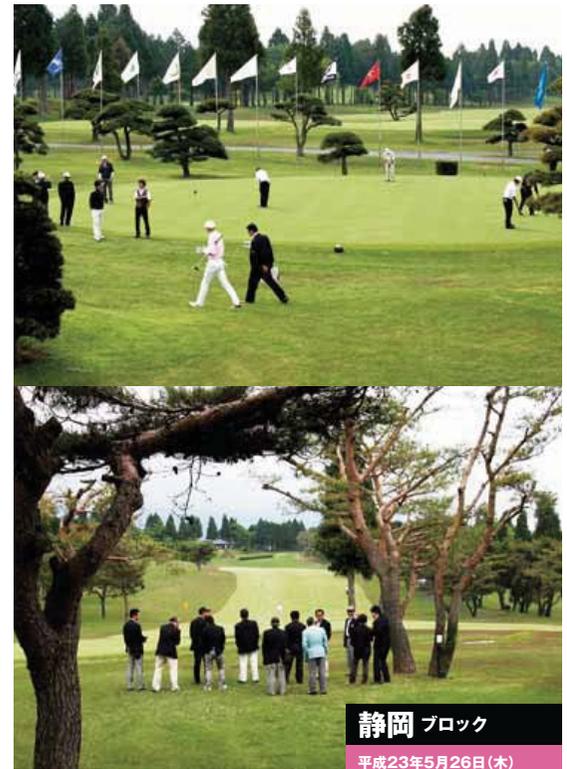
3位 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ / 475



上 / 朝霧ジャンボリー GCの前川理事長の発声で乾杯。  
下 / 優勝ペナントは見事、富士チサンCCへ。



甲斐1番ホール。  
富士に向かって豪打を放つ。



静岡 ブロック

平成23年5月26日(木)



朝霧ジャンボリーゴルフクラブ  
駿河・甲斐コース  
22年ぶりの開催に高まる緊張  
人材教育とコース整備は万全に



まず取り掛かったのはキャディー教育です。年頭からキャディーマスター室を中心に、レベルアップに励んできました。今年はこの大会の直前、静岡県プロゴルフ選手権が当ゴルフ場で開催され、意欲的にレベルアップを図ることができました。

イベントの成否はなんといつても当日の天候次第ですが、もともと頭を悩ますのは霧の発生です。幸い当日朝は富士山が姿を現し「富士に向かって豪打を放つ」というシーンを実現でき、胸をなで下ろしたものです。幸い終日天候に恵まれ、トラブルなく無事終了できました。

コースコンディション、特にグリーン  
の仕上がりに関しては細心の注意を払い、グリーンキーパーを始め関係者の奮闘もあって、ご満足いただけるレベルに仕上がったと思います。

今回、22年ぶりの倶楽部対抗ブロック予選競技は、多くの倶楽部の方が何度も何度も練習ラウンドにお見えになったり、当日もお揃いのプレザーに

身を包まれた応援団が多数お見えになるなど、倶楽部の名譽をかけた情熱に溢れる、素晴らしい雰囲気を感じました。我々にとっていい刺激になったことは間違いありません。今後の糧にさせていただきます。

(朝霧ジャンボリーGC取締役支配人、江頭一男)

- 天候 曇り、平均気温14.5度、平均湿度82.4%、平均風速0.9m/s、南西の風
- ベントグリーン刈り高3.5mm、スピード10.1F、コバクション8.10
- 全長7014Y、P72

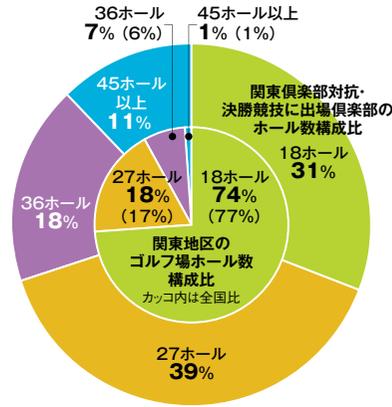


開催倶楽部、朝霧ジャンボリー GCの代表選手と関係者の皆様。



撮影／塚越克一（KGA広報副委員長）

規模の大きな倶楽部（27ホール以上）が圧倒的に強い



**ポイント** 関東では18ホール規模のゴルフ場が74%を占めるが、関東倶楽部対抗の決勝競技に出場は31%と半分以下。45ホール以上の大規模ゴルフ場は1%しかないが、倶楽部対抗にはその10倍が出場した。会員数だろうか？

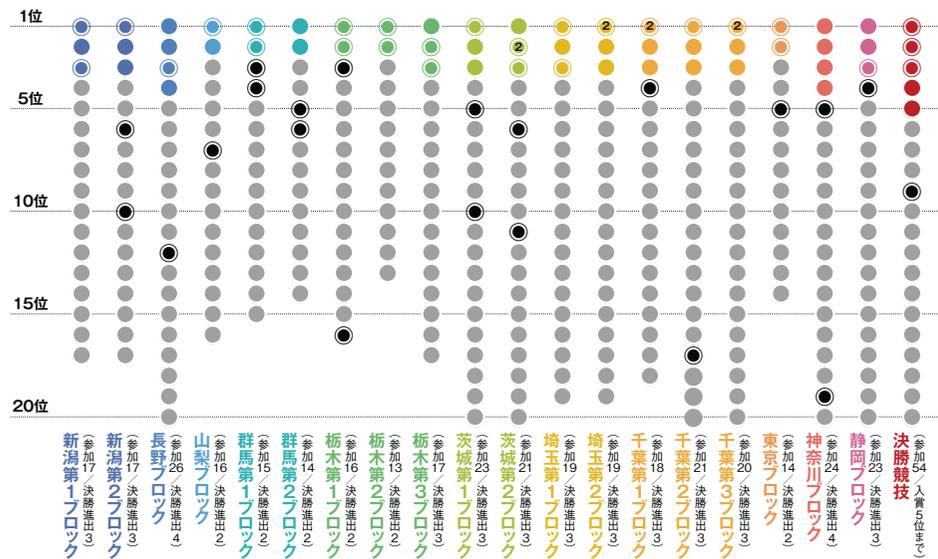
ポイント

各地区ブロック予選競技のベストスコア受賞者（A・Bクラス）と、決勝競技の最優秀選手（両クラス）が、どの順位の倶楽部に所属するかを調べた。下のチャートで一目瞭然。個人表彰された倶楽部のエース格が、チーム力をアップさせている。

倶楽部のエース（ベストスコア受賞者）がチーム力をアップさせている

A、Bクラス・ベストスコア受賞者の所属倶楽部ごとの順位

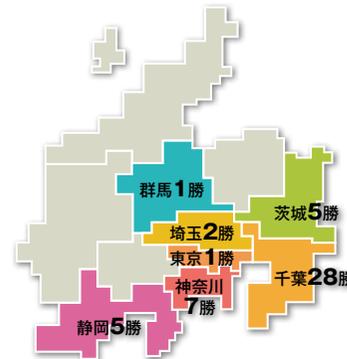
●=ベストスコア受賞者の倶楽部 色丸=ブロック競技の決勝進出、または決勝競技の入賞 色丸の2=同じ倶楽部で2人が受賞



1都10県、歴代の優勝都県は？

都県別、優勝回数

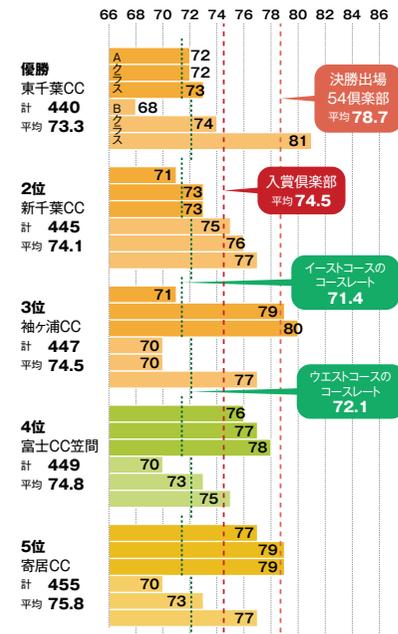
注/1963（昭和38）年、ブロック予選競技開始後



ポイント

関東倶楽部対抗の各地区ブロック予選競技が始まったのは1963（昭和38）年。そこからの都県別の優勝回数では、やはり千葉県がダントツの強さ。KGA加盟倶楽部数比だと、神奈川県は健闘と栃木県の不振が浮き上がる。

千葉県の3強（東千葉CC、新千葉CC、袖ヶ浦CC）は？



数字で読む『関東倶楽部対抗』の千葉勢の強さが見える。

昨年の関東倶楽部対抗は、優勝から4位までを千葉の倶楽部が独占した。今年も同じ顔ぶれで、千葉の3強対決となった。データで分析してみると、強さの理由が浮かび上がってくる。  
まず伝統の強み。  
都県別の優勝回数は千葉が28勝で、他都県の合計の優勝回数をはるかに上回る。倶楽部別でも、最多勝は千葉CCの8勝。それに続く上位の5倶楽部は、すべて千葉勢だ。

い倶楽部が強い。  
データから明らかになるのは、多数回勝っているのは、36ホール以上を持っている倶楽部が多いことだ。ただし人数が多いから有利とは結びつかない。優勝した東千葉CCにしても、研修会の会員は多くないのだ。  
3つめの強さの条件は、倶楽部にエース格がいること。  
各地区ブロック予選競技から決勝競技に進出するには、ベストスコア賞を獲得するような選手が不可欠だ。決勝競技の最優秀選手賞

も、すべて優勝を争った3倶楽部の所属選手が獲得した。  
逆に推察すると、関東や日本の大きな個人競技でも活躍するような強豪プレーヤーが、千葉にある大きな規模の倶楽部に、たまたま集まるのかもしれない。  
他の倶楽部から優れたプレーヤーを、スカウトすることはできない。また倶楽部内で、強い代表選手が揃うことも希だ。結論として、倶楽部対抗の強豪は、人の輪、時の運、さらに勝負の神様を味方しているのだろう。

最多勝	倶楽部	勝数
1	千葉CC	8勝
2	相模原GC	5勝
2	東千葉CC	5勝
4	新千葉CC	4勝
5	中山CC	3勝
5	袖ヶ浦CC	3勝

ポイント

Aクラス(上の3人)はイーストコース、Bクラス(下の3人)はウエストコースを使用。それぞれのコースレートからすると、入賞倶楽部はすべて実力を発揮している。優勝した東千葉CCのAバレー73.3は次回、さらに向上する可能性が高い。



決勝競技の天候は雨時々曇り、気温は20.9度、北の風で風速3.3m/s。気象条件の厳しさに加えて雨を含んだクラブは重く、また深い。相模原GC西コースに果敢に挑んだ選手の皆様の健闘に、拍手を送ろう。



9番、18番をホールアウトする選手たちには、取り囲む大勢のギャラリーから、所属倶楽部の隔てなく拍手が送られた。緊張から開放された選手の顔に浮かぶ笑顔は輝いて、人々に大きな元気を与えた。



関東女子倶楽部対抗  
～報知杯～ 決勝競技

平成23年8月22日

相模原ゴルフクラブ  
関東の頂点へ！  
成田東CCの気迫が  
悲願の優勝の原動力



取材：西田美千子（KGA広報委員）  
撮影：塚越克（KGA広報副委員長、増田 收（KGA広報委員））



「関東女子倶楽部対抗報知杯」決勝競技は、関東の1都10県、41倶楽部から各4人が出場し、その合計ストロークで競うチーム戦である。

8月の連日の猛暑からは開放されたものの、夜半からの雨は競技会後半まで降り続いた。心配されたコースコンディションは、さすがに普段からのメンテナンスで定評のある相模原GCである。「バンカー内に多少の水溜まりはあるものの、なんの問題もありませんでした」とは、選手一同の声。レインウェアに身を包んで、7時30分に予定どおり1組目がスタートした。

各チームが関東の頂点を目指し、所属倶楽部の名譽を担っての競技だ。個人戦とは異質の緊張感、責任感というプレッシャーと、選手ひとり二人が戦っている。

観戦者としてこの場にいると、個々の選手がプレッシャーを克服し、チームワークに徹している心構えが、ひしひしと伝わってくる。その厳しさを乗り越えなければ、各地区ブロック予選競技から、この決勝へ進出できなかったのだから……。

ほんのわずかなチャンスを好成績に結びつけたのが、昨年4位の成田東CCだった。2位の石坂GCに、6打差をつけての優勝だった。

入賞倶楽部



2位 石坂ゴルフ倶楽部 / 319



3位 総武カントリークラブ / 319



4位 霞ヶ関カントリー倶楽部 / 325



5位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 327



優勝 成田東カントリークラブ / 313



優勝の成田東CCチーム。左から三木美奈子選手、田中真弓選手、中山康子選手、山本美恵子選手。ここにいない11人の研修会メンバーもチームだ。



このウェアには、テーピングのような効果があるそうだが……。



竹田KGA理事長より、決勝競技の最優秀選手賞を授与される竹田弘子選手。右は西10番ホール・パー3をティーオフする竹田選手。



**ケガを押しての出場で最優秀選手賞を獲得**

最後の一人の成績に気をもみながら、ディスプレイ表示の成績表を見ている人々。すでにホールアウトした選手、応援に駆けつけた仲間。チーム戦ならではの、緊迫感漂う光景である。

昨年の記念すべき第1回大会では、親子ペア2組のチーム編成で優勝して、話題となったのが霞ヶ関CCだ。今大会は4位だが、雨で攻略の難しい中、出場164選手でただ1人、アンダースコアの71で竹田(旧姓・浅川)弘子選手が、最優秀選手賞を獲得した。

竹田選手は決勝競技の直前に指を負傷し、ドクターストップがかかっていたのを、自分の意志を貫いての出場だった。個人戦だったら、こんな無理はしなかっただろう。競技中は痛みをこらえていたはずなのに、そんな素振りもまったく見せなかった。

さて、今回の決勝競技を分析するだけのデータはまだないが、第2回開催にして、上位10倶楽部はすべて、2年連続でブロック予選を突破しての決勝進出だった。



成田東カントリークラブ

# チームワークが 野芝・ジャパングの強さ

失礼を承知で言うと、成田東CCチームはゴルフの環境にも時間的にも、さほど恵まれてはいないようだ。ハングリー(挑戦)精神に溢れる、アスリート集団でもある。

成田東CC研修会の15人全員が、女子ミッドか女子シニアにエントリーしている。多くの人は仕事に追われながらの出場だ。主婦は4人で、そのひとり中山康子さんは、競技から遠ざかって、10数年ぶりの再挑戦だった。



「月イチゴルフが精一杯でしたが、今年から研修会に入り、予選も決勝競技も初参加。緊張しました」  
なにか趣味を持つと、薬剤師の田中真弓さんがゴルフを始めたのは、30歳を過ぎてから。「知らずに入会した成田東CC

「個人成績よりチームのために。今は研修会の全員が親友同士で、ゴルフを離れても楽しく有意義なお付き合いが続いています」  
キャプテンの山本美恵子さんは、これまでの困難や努力を思い出したのか、思わず泣き出しました。「この優勝が、新たなスタートです！」

「ただ、これだけ競技に打ち込むメンバーに出会えて、人生が変わりました」  
三木美奈子さんは、千葉県ロック予選競技のベストスコア賞だった。



名物のスーラータン(1300円)。スー(甘酸っぱい)ラー(ピリ辛)のパンチの効いた味。魚介や野菜もボリュームたっぷり。半チャーハンセットも人気。

18番ホールからクラブハウスを望む。



池越えの12番ホール・パー3。

(左から千葉ブロック予選競技出場リスト順)

名前	山本美恵子さん	中山康子さん	田中真弓さん	錦木友子さん
星座	おうし座	おひつじ座	双子座	天秤座
血液型	AB型	B型	O型	A型
ゴルフぶり				
ゴルフ歴	34年	30年	17年	15年
ゴルフを始めた動機	父とゴルフがしたくて	おもしろそうだから	趣味	時差ボケ解消
初ラウンドのスコア	87	?	137	数えていませんでした
現在のラウンドの平均スコア	78	83	78	83
ワンラウンドの平均パット数	33	32	33	31
ドライバーの平均飛距離	220ヤード	200ヤード	240ヤード	200ヤード
年間のラウンド数	120回	40回	70回	70回
毎月の練習量	月に8回で1回に200球	月に10回で1回に200球	月に5回で1回に150球	月に10回で1回に300球
得意技	ドライバー、パット	アイアン	アイアン	真つすくに打つ
不得意	アプローチ	アプローチ	アプローチ、パット	ロングパット
尊敬するゴルファー	アニカ・ソレンスタム	不動裕理	—	中部銀次郎
ゴルフで一番大切なこと	つながり(人、ゲーム、1打1打)	集中力	エチケットとマナー&平常心	楽しむこと
今後の目標	大切な人たちと、ゴルフを楽しみたい	健康で長く続けること	日本女子アマのマッチに進出	日本女子ミッドアマ優勝
日頃的生活				
休日の過ごし方	リラックス、家族や友人との食事会	練習、ラウンド	ゴルフ以外は家でのんびり	練習、ラウンド、スーパー銭湯
日頃健康管理	美味しいものを食し、よく寝ること	体のケア	疲れたら体を休める	飲みたい時に飲み、寝たい時に寝る
ゴルフ以外の趣味	旅	—	特になし	犬と遊ぶ
過去のスポーツ歴	バレーボール、陸上、水泳	バレーボール	中学時代は軟式テニス	なし
トレーニングなどの運動	特になし	—	時々ウォーキング	嫌い
マイカー	アウディ	家族と共用	プリウス	プリウス
ゴルフウェア	好みのブランドあり	衝動買い	衝動買い、普段着	衝動買い
日焼け防止	UV液程度	万全の対策	UV液程度	顔は万全の対策、それ以外は無防備
ラウンド後の身だしなみ	急げば10分、のんびりで30分	急げば10分	急げば15分、のんびりで40分	のんびりで30分
得意なカラオケ曲	なし	なし	なし	ホイットニー・ヒューストン
携帯の待ち受け画面	興味なし	興味なし	興味なし	興味なし
酒	酒豪	酒豪	付き合い程度	毎晩たしなむ
好きな食べ物	なんでも、特に野菜	お肉	麺類	納豆、とろろ、ネバネバ系
苦手な食べ物	シャコ、スッポン	なし	なし	レバー
関東倶楽部対抗、出場選手へひと言	チームのためにという、同じ目標を持って参加できることに感謝。団体戦は醍醐味です。	来年もお会いできますように！	個人戦では経験できないことが沢山。仲間と喜びを分かち合えて、本当に嬉しいです。	ゴルフ、楽しみましょう！

取材協力/成田東カントリークラブ

新潟ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 新発田城カントリー倶楽部 / 342



2位 柏崎カントリークラブ / 346



3位 湯田上カントリークラブ / 346



紫雲GC。



湯田上CC。



石地シーサイドCC。

笹神五頭GC。



右 / 紫雲GC、左 / 柏崎CC。



1打の重み。  
上位5倶楽部が  
7打差にひしめく大混戦。



快晴の中、新潟ブロック予選競技が当倶楽部に開催されました。昨年の夏にダメージを受けたグリーンの回復を心配する中、今年は例年になく降雪が多かったため、毎年3月初旬のオープンが、今年は3月下旬となり、準備が約1カ月遅れました。6月9日の予選競技に間に合わせるべくコース整備に力を入れ、大会当日は万全の状態で、選手の皆様をお迎えすることができました。2回目となる関東女子倶楽部対抗競技。当倶楽部では県内15倶楽部のご参加をいただき、大いに盛り上がりました。チーム戦ということで、選手の皆様もかなり責任を感じながら、プレッシャーに思っています。トップスタートの選手が呼び出されると、競技委員、倶楽部関係者および応援の方々で、スタートホールは大勢のギャラリが集まりました。選手の皆様には、なんともいえない緊張感が漂っていました。そんな中、午後2時45分に最終組がホールアウトし、各倶楽部の成績に一

喜一憂する皆様を見ていると、準備は大変でしたが開催をお引き受けして良かったと、感激いたしました。最後に、関東ゴルフ連盟、齋藤文志郎大会会長、澁谷知里競技担当委員長を始め、競技委員の皆様、大会関係者各位、新潟ブロック参加倶楽部様には、多大なるご理解とご協力に厚く感謝し、御礼申し上げます。(湯田上CC支配人・伊藤一秋)



右 / 新発田CC、左 / 笹神五頭GC。

新潟 ブロック  
平成23年6月9日(木)

湯田上カントリークラブ  
護摩堂・紫陽花コース

豪雪の遅れを取り戻し  
最良のコンディションに

長野ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 穂高カントリークラブ / 314



2位 南長野ゴルフ倶楽部 / 331



ベストスコア賞の小林ゆたか選手(穂高CC)の華麗なショット。



(穂高CC 支配人・小林 清)

だが、ようやく最終ホールをホールアウトするたびに、選手全員にギャラリーより慰労の拍手が送られ、この大会に出場できた喜びと同時に、安堵感もこみ上げてくるようでした。

宮坂久臣大会会長を始め、大会関係者が一体となって作り上げた大会は、大成功の内に終わりました。結果は決勝へ穂高CC、南長野GC。個人賞は穂高CCの小林ゆたか選手が、73ストロークで見事ベストスコア賞でした。

そして次年度は11倶楽部以上が出場するよう皆で呼びかけ、再会することを誓い合い散会いたしました。厳しくも華やかな、素晴らしい戦いでした。



ベストスコア賞の小林ゆたか選手(穂高CC)



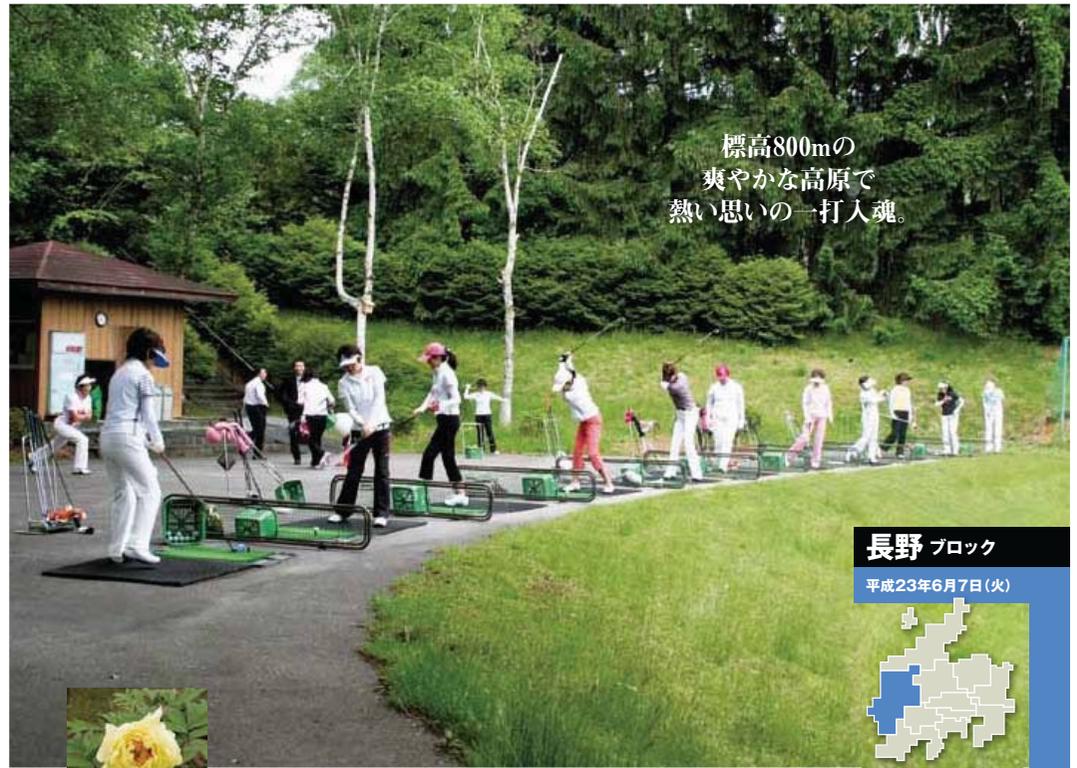
右 / 穂高CCの遠藤正寿専務理事。左 / 大会会長の宮坂久臣KGA常務理事。



●天候晴れ 気温23度  
●グリーンの高さ10.3F グリーンの刈り高3.8mm  
●ティの刈り高10mm フェアウェイの刈り高15mm ラフの刈り高50mm



松本CC (10位) 諏訪湖CC (9位) あつみ野CC (8位) 丸子上田グランヴィリオGC (7位)



標高800mの爽やかな高原で 熱い思いの一打入魂。

長野 ブロック

平成23年6月7日(火)



やかな大会となりました。各選手は倶楽部の代表であるとの意識のもと、倶楽部のためになんとかしなくてはとの思いが強く、緊張しきった様子でした。

昨年より始まったこの競技は、山梨県・静岡県・長野県3県の合同開催でしたが、今年度は長野県内だけで開催したいとの願いから、各倶楽部に参加を呼びかけ、10倶楽部での開催となりました。県内のみでの大会ということで顔見知りも多く、なご

梅雨中とは思えない心地よい初夏の23度の風の中、10倶楽部から出場60選手が一同に会して、平成23年度関東女子倶楽部対抗長野ブロック予選競技が6月7日(火)、黒野美奈競技担当委員長もお見えたいたでの開催となりました。各倶楽部とも練習に練習を重ねての本番です。

1番、10番のスタートではナイスショットにギャラリーから惜しみない拍手、1打打ち終ると同時に緊張も消えて、小走りですぐ2打地点へと向かって行きました。



中央道晴ヶ峰CC (6位) 塩竈CC (5位) 長野CC (4位) 松本浅間CC (3位)

穂高カントリークラブ  
初夏のゴルフ日和に 厳しくも華やかな熱き戦い!



山梨ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 ヴィンテージゴルフ倶楽部 / 324



2位 メイプルポイントゴルフクラブ / 332



3位 甲斐駒カントリークラブ / 336

大会役員をはじめ競技委員、選手・応援団のご理解とご協力のもと大会の進行も円滑に進み、大会を無事終えることができました。心より御礼申し上げます。

ゴルフアリーの競技志向が高まる中、今後も各競技会にご利用いただけるよう、コース管理・大会運営に努めます。(ヴィンテージGC支配人・平井信幸)



左から山田守郎ヴィンテージGC理事長、柴田章江競技担当委員長、大会会長の志村和也KGA常務理事。

ベストスコア賞の小嶋桃子選手。

成績掲示板の前は情報交換の場。



スコアの確認はベテラン選手でも緊張する。



オープンカフェのようなテントで気分は爽快。

八ヶ岳  
高原からの  
爽やかな風の中で。



山梨ブロック  
平成23年6月7日(火)



ヴィンテージゴルフ倶楽部  
カラフルなウェアで  
気合いを入れて山梨の栄冠

去年は長野県と静岡県との合同開催でしたが、今年は山梨県の単独開催、さらに山梨県としての参加倶楽部数が10から11に増えたことで、決勝進出枠も2から3へと、大きくチャンスが広がりました。

そのせいもあってか、比較的早い時期から各倶楽部とも練習ラウンドに訪れ、大会当日を迎えるまでの期間、徐々に高まる緊張感とともに、運営準備を進めてまいりました。コース管理に関しては、特にパッティング・クオリティにこだわり、更新作業やトップドレッシングなどの管理をして、本番を迎えました。

当日は雨天が心配されましたが、朝から薄曇りで涼しい好コンディション、時おり八ヶ岳から高原の爽やかな風が吹き、プレーには快適な一日でした。

ヴィンテージGCを象徴するロケーションでもある、静かな水面をたたえた池を配する最終ホールには、応援ギャラリーが絶えず、倶楽部対抗ならではの独特の緊張感がたまたよつていました。続々とホールアウトする選手たち、スコアボードの前で記入されるスコアに、選手や応援者たちの真剣な眼差しが注がれます。

結果、唯一70台を2人輩出し、平均81ストロークのヴィンテージGCが、ホームコースのプレッシャーを跳ねの

群馬ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 白水ゴルフ倶楽部 / 316



ゴルフウェア姿の白水チーム。



2位 ツインレイクスカントリー倶楽部 / 334



18番グリーンからクラブハウスを望む。



3位 上毛森林カントリー倶楽部 / 335



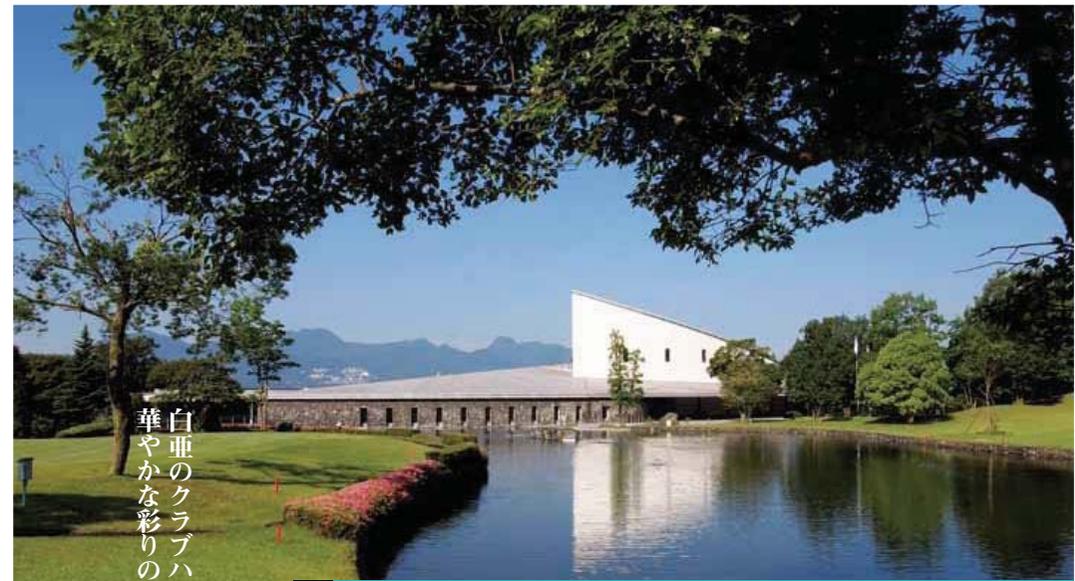
優勝スピーチをする白水GCの南雲東キャプテン。



4位 レーサムゴルフ&スパリゾート / 338



緊張のプレーが終わって、ホッと一息。



白亜のクラブハウスに映える  
華やかな彩りの女子選手。

平成23年6月7日(火)  
群馬ブロック



白水ゴルフ倶楽部  
開催倶楽部が前評判どおり  
安定した力を発揮して優勝



今年東日本大震災の影響が少なからず残る中での、群馬ブロック予選競技の開催となりましたが、昨年と同数の16倶楽部が出場しました。心配していた気象情報の雨の予報に反し、午後には曇も取れ夏日となり、決勝進出を目指してさらに熱い戦いが繰りひろげられました。結果は開催倶楽部の白水GCが、地の利を活かして前評判どおりの力を発揮して、2位に18ストロークの大差をつけ、昨年2位の雪辱を果たして優勝しました。決勝進出の4位を巡る戦いは2倶楽部が同スコア。規定により個人スコア上位のレイサムゴルフ&スパリゾートが予選通過を決めました。さらに4ストローク差に3倶楽部がひしめく昨年同様の混戦となり、優勝の白水GCが2年連続、今年新たに3倶楽部が決勝進出と、来年もさらに決勝進出の可能性を残した倶楽部との、接戦が予想される結果となりました。ベストスコア賞は上毛森林CCの岩井恭子さんが75ストロークで獲得し、倶楽部の決勝進出へ大いに貢献されました。昨年は初めての開催で、大会運営に関する準備等では開催倶楽部は苦勞されたと思いますが、今年は2回目の開催となり、昨年発行の「関東倶楽部対

8番パー3の  
グリーンへの想い!!



予期せぬ天候不順の影響で、回復が懸念されていたアウト8番グリーン。試合当日までに仕上がりました。早くから練習ラウンドにご来場された選手の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しましたが、試合が無事終了してまずはひと安心です。(白水GC・須藤隆史グリーンキーパー)



8番グリーン

抗特集号」の掲載記事・写真により、各ブロック大会の模様を知ることができ、本年度の開催倶楽部としては運営の参考になりました。今年の大会は震災被害を考慮して、倶楽部旗掲揚の中止および表彰式での乾杯自粛となりましたが、各倶楽部代表選手総勢80名による華やかな大会となり、無事に終了することができました。決勝大会に出場される群馬ブロック倶楽部代表選手には、上州「カカア天下と空っ風」旋風を期待しております。(白水GC副支配人・荻原 實)

- 天候曇りのち晴れ 気温25.1度 南東の風 3m/s
- グリーンの刈り高4mm スピット9F

栃木ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 東松苑ゴルフ倶楽部 / 330



2位 矢板カントリークラブ / 340



3位 草月ゴルフ倶楽部佐野コース / 341



4位 芳賀カントリークラブ / 346



●天候晴れ 気温27度 湿度90%  
●グリーンは速さ9.5F コンパクション22  
●本丸コース・三の丸コース5874Y P.72

橋本泰子競技担当委員長からは「すべての運営スタッフ、競技委員、大会協力者、ハウスキャディーさんたちの努力により無事競技が終了し、皆様に感謝いたします」との挨拶があった。  
決勝競技に進出した5倶楽部の表彰後、当倶楽部を代表して井上修副理事長から「本丸・三の丸コースは来年、日本プロゴルフ選手権が開催されます。ぜひ観戦にお越しください」との挨拶があった。当倶楽部の各津行男キャプテンの発声で乾杯が行なわれ、なかなかムードのうち大会は無事終了した。(烏山城CC支配人・菊池政男)



5位 鹿沼カントリー倶楽部 / 347



ベストスコア賞の小森幸恵選手(矢板CC)。



雄大な本丸と戦略型の三の丸。難攻不落の“城”に挑戦。

平成23年6月6日(水)  
栃木ブロック



烏山城カントリークラブ 本丸・三の丸コース  
各種競技開催の実績がある  
舞台上、1打を争う好勝負

表彰式では篠崎大会会長の挨拶があり「このような素晴らしい日和の中、コースコンディションも最高でした。関係者の皆様にお礼を申し上げます」と、スタッフ、関係役員の労をねぎらった。



梅雨とはうらはらに、大会を盛り上げるかのように絶好の競技日和となり、応援団やギャラリーは早朝からの位置取りにあわただしく走り回り、色とりどりの天幕がこの大会を盛り上げてくれた。  
各倶楽部を代表し参戦した選手達は、打球練習場、練習グリーンでスタート前の調整に集中していた。烏山城チームもホームコースでの競技に緊張気味だったが、倶楽部役員の語りかけに気分もやわらいだ様子だった。  
7時30分、本丸コースと三の丸コースから応援団の声援の中、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、ほぼ全員が素晴らしいショットを披露したスタートだった。  
一喜一憂した競技は、東松苑GCが2位の矢板CCに10打差をつけ優勝した。残念ながら我が烏山城チームは力およばなかったものの「楽しく競技ができました」と、笑顔で応援団に応えていた。



烏山城CCの代表選手。



開催倶楽部、烏山城CCの代表選手と関係者の皆様。

茨城ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 ニッソーカントリークラブ / 320



2位 扶桑カントリー倶楽部 / 338



3位 水戸グリーンカントリークラブ / 338



4位 桜ゴルフ倶楽部 / 339



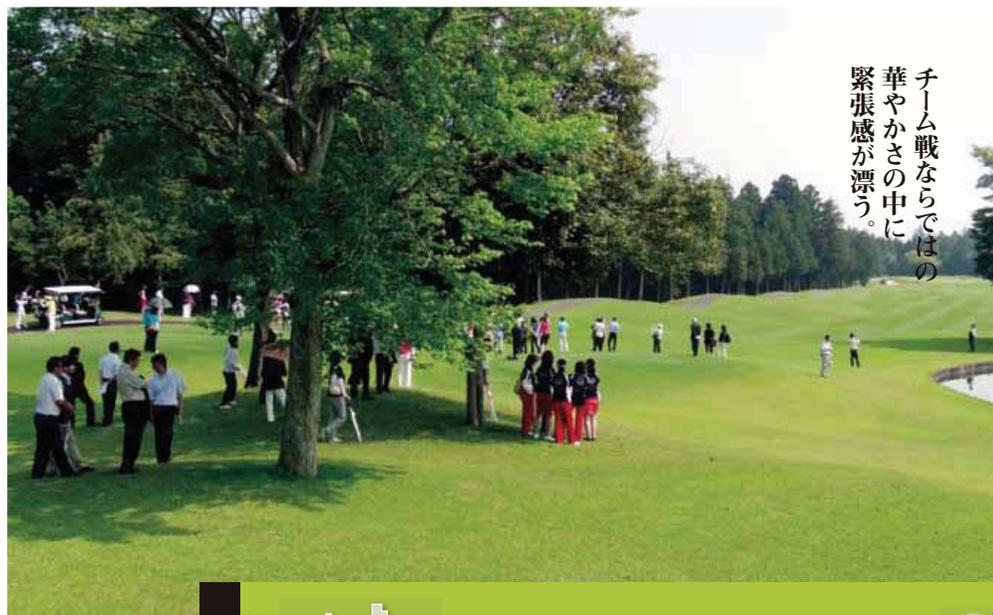
キャディーの呼び名は「ラウンドコーディネーター」。プレー中のア  
ドバイスはもちろん、洗練されたサービスの提供を目的としてい  
る。制服もニッカボッカにベストに丸い帽子のスタイルを維持。



を阻む倶楽部が現れる  
のか、今から楽しみが  
膨らみます。  
従業員にとってもこ  
の大会を目標に士気を  
高め、取り組むことが  
できました。特にコー  
ス管理部は、緊張感を  
持つて臨みました。そ  
の結果がコースの仕上  
がりに繋がったと感じ  
ます。  
最後に競技関係者の  
皆様や、ゴルフ場従業員一同に、感謝  
を申し上げます。  
(阿見GC支配人・高村知彦)



大会会長の塚原裕KGA常務  
理事からベストスコア賞の表  
償を受ける落合美詠子選手  
(ニッソーCC)。



チーム戦ならではの  
華やかさの中に  
緊張感が漂う。

平成29年6月6日(月)  
茨城ブロック



阿見ゴルフクラブ  
雨の予報を覆す快晴の下  
2位以下の3倶楽部は大混戦模様



会場に選定されてから、まずなによりも折ったのは当日の天候でした。1週間の予報は曇り、そして3日前は完全な雨予報。大会当日は天候に恵まれないことを覚悟しました。  
しかし奇跡が起きたかのように、当日はみるみる間に雲が取れ、見事な晴れ間が広がりました。女子の競技だけに、美しく華やかにプレーしていただきたいとのスタッフ全員の想いが、天に通じたのかもしれない。  
大会当日、女子選手がチェックインされるにつれ、華やかさの中にも気合いが入った雰囲気となり、いい緊張感に我々スタッフも、次第に鼓舞されました。  
次々とスタートする選手と見送る応援団、このシーンは倶楽部対抗ならではの、代表選手としての誇りを感じる瞬間でしょう。ハーフ終了後に仲間と交わす悲喜こもごもの表情も、チーム戦ならではのです。表彰式会場では成績を問わず、仲間と健闘を讃えあい、笑顔が溢れる中での盛り上がりがあったパーティーでした。  
結果は2年連続でニッソーCCが、2位に13打差をつけて優勝。おめでとうございます。来年は3連覇



左から阿見GCの小林競技委員、樋口競技委員、戸沢競技委員長、片山競技委員。



阿見GCの代表選手の皆様。



埼玉ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 霞ヶ関カントリー倶楽部 / 326



2位 日高カントリークラブ / 327



3位 石坂ゴルフ倶楽部 / 339



4位 ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場 / 344



独立タイプのテント村で、応援に力が入る。



けながら、従業員一同、緊張感を持って当日を迎えた次第です。特に配慮したこととしては、各倶楽部挙げての応援にも入ること、ギャラリブラザの収容スペースを拡げるために、テントを各倶楽部ごとに独立したタイプにしたこと。また成績表の倶楽部名をすぐに見つけやすいように、成績表の上に倶楽部のロゴマークと名称を大きく入れたことは、大変好評でした。天候にも恵まれ、一件の事故もなく、つつがなく大会を終了することができましたのは、今大会における一番の成果だと思っております。

(飯能GC支配人・安達義一)



5位 高根カントリー倶楽部 / 345



ベストスコア賞の川森里菜選手(霞ヶ関CC)。



快晴微風ながら  
タフなコース設定に  
選手はガマンのプレー。



埼玉ブロック

平成26年6月6日(日)



飯能ゴルフクラブ

22倶楽部の代表選手が競い  
昨年の覇者、霞ヶ関CCが連覇

東日本大震災の影響により参加倶楽部数が心配されましたが、22倶楽部の精鋭110名もの多くの参加を得て、開催することができました。大会当日は梅雨入りしたことから心配された天候も、選手の皆様を歓迎するかのごとく、前夜からの雨が明け方にはすっかり止んで、コースコンディションの最終の仕上げに貢献してくれました。

選手がスタートする頃には太陽も顔をだし、微風、気温28度という絶好のゴルフ日和の中で、熱戦が繰り広げられました。グリーンコンディションは刈り高3・2ミ、スピード11、コンバクション11という、女子選手にはやや厳しいコースセッティングとなつてしまいました。

その中で前年度の覇者である霞ヶ関CCが前評判どおり、追いつけてきた日高CCをわずかに1ストローク差でかわし、2連覇を成しとげられました。特に各選手がスコアメイクに苦戦する中、ベストスコア賞(72)を獲得された川森里菜選手(霞ヶ関CC)の、プレーとそのスコアには、200名を超えるギャラリから、ため息が聞かれるほどの素晴らしさでした。

関東ゴルフ連盟主催となりましてから2回目の開催ということで、前年開催の鳩山CCの皆様のアドバイスも受



倶楽部のロゴを入れた成績掲示板が好評。



開催倶楽部、飯能GCの代表選手と関係者の皆様。

千葉ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 成田東カントリークラブ / 318



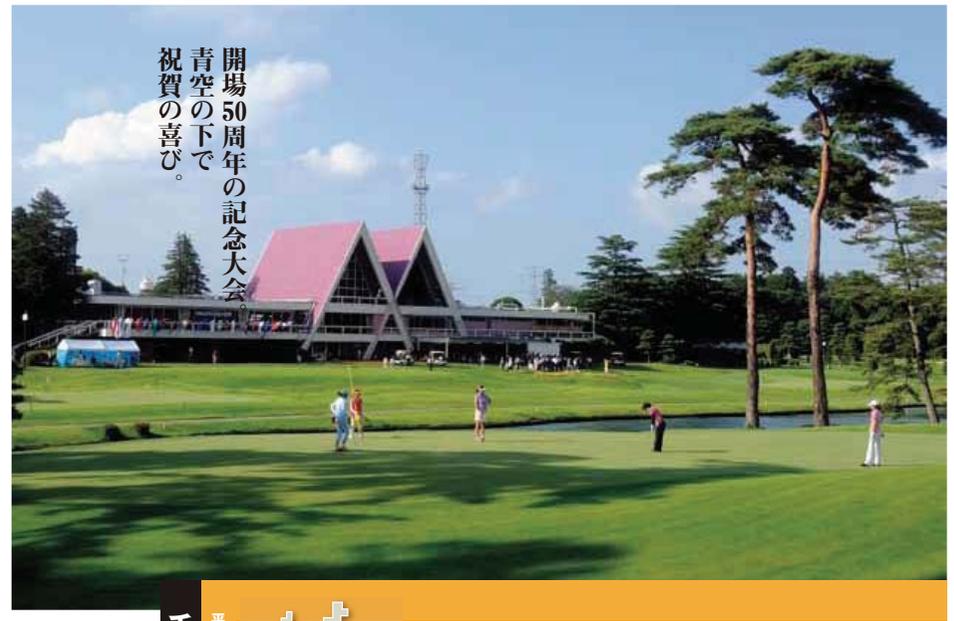
2位 千葉夷隅ゴルフクラブ / 325



3位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 327



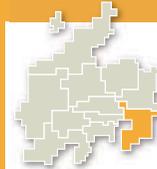
4位 習志野カントリークラブ / 328



開場50周年の記念大会  
青空の下で  
祝賀の喜び。

千葉  
ブロック

平成23年6月8日(水)



紫カントリークラブ すみれコース



千葉の強豪29倶楽部による  
上位争いは予想通りの大接戦に

出し、コンディションが心配されましたが、平成21年から約1年間かけてコース改修工事を行なった際、排水関連の工事も行なったお陰で、グリーンやフェアウェイなどは、雨の影響はほとんどありませんでした。一日通して雨混じりの悪天候でしたが、29倶楽部145名の女子選手たちのプレーで、華やかな雰囲気になりました。

競技については大きなトラブルもなく、無事に開催倶楽部としての役割を果たせたことにつき、携わって下さった近藤競技担当委員長や競技委員の方々、またKGA事務局や運営にご協力いただいた会員の皆様には、改めて感謝申し上げます。

(紫CCすみれコース・中村昭広)

紫CCすみれコースは、平成23年4月16日に開場50周年を迎える記念すべき年となるはずでしたが、3月11日に発生した東日本大震災により、倶楽部競技やイベントなどの中止および延期を余儀なくされ、連盟主催の競技も中止となるのではないかと心配でした。

しかし関係各位の前向きな努力もあり、連盟主催の競技はすべて開催することとなりました。当倶楽部ではこのような大きな競技は、5年前に開催した男子の倶楽部対抗以来だったので、経験がないスタッフが多いことに不安を感じ、さらに千葉ブロック予選競技では29倶楽部出場ということで、開催に向けて入念な事前準備を進めてまいりました。

開催に向けて一番の苦労は、駐車場の確保でした。29倶楽部のテントや仮設トイレを設置した段階で、駐車できる車の台数は1倶楽部5台となつてしまい、さらには応援者などの駐車スペースも確保しなければならず、近隣地主の方へ依頼し、臨時駐車場を用意しました。またロッカーやトイレ・浴室などは男女入れ替え作業を行ない、スコアボードについてはコース管理による自社制作など、通常営業では味わえない緊張感や経験をすることができました。

競技当日は早朝には晴れ間も見えましたが、スタートとともに小雨が降り

ベストスコア賞の吉田茜さん(姉ヶ崎CC)。左は、大会長の渡邊満之助KGA常務理事。

ベストスコア賞の三木美奈子さん(成田東CC)。



5位 総武カントリークラブ / 331

●天候曇り時々雨  
●グリーンの刈り高3.5mm ティーイングクラウンの刈り高10mm F.Wの刈り高14mm セミラの刈り高22mm



大鷲俊朗紫CC常務理事。



ベストスコア賞の吉田茜さん(姉ヶ崎CC)。左は、大会長の渡邊満之助KGA常務理事。

ベストスコア賞の三木美奈子さん(成田東CC)。



開催倶楽部、紫CCすみれコースの代表選手と関係者の皆様。

東京ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 GMG八王子ゴルフ場 / 334



2位 立川国際カントリー倶楽部 / 334



3位 東京五日市カントリー倶楽部 / 338



1、2位は同スコア。  
決勝進出は  
わずかる打の接戦に。



変ご迷惑をお掛けいたしました。各倶楽部のご理解をいただき、スムーズに終了しましたことを、改めて御礼申し上げます。

倶楽部によっては年明け早々から練習に来場され、試合が近づくとともに多くの女性プレーヤーで賑わうという、いつもの年とは違う華やかさがゴルフ場に溢れた、大会当日までの状況でした。

東日本大震災という未曾有の出来事があった年に開催された本大会が、関係者の心に残る大会であればと念じ、ご報告とさせていただきます。

(青梅GC支配人・池田 茂)



東京ブロック

平成23年6月7日(火)



青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース

半年前からの練習ラウンドで  
各倶楽部女子代表選手の華やぎ

例年より10日も早い梅雨入りの今年、競技当日の天候が心配されましたが、薄曇りで気温20度という、プレーヤーにとっては絶好のコンディションの中、午前8時に競技が開始されました。女子の競技ということもあり、ラフは短く刈り込み、グリーンスピードも9.7というセッティングで当日を迎えました。

春以降の少雨のためか、直接グリーンに乗った球の多くがオーバーしてしまふという条件の中、参加12倶楽部、60名の選手たちは倶楽部の名譽のため、そして日頃の練習の成果を発揮せんと、精一杯のプレーをしました。その結果、優勝倶楽部の決定が、個人成績上位2番目の選手のスコアとなる大接戦でありました。

関東ゴルフ連盟より佐藤敏明大会会長、そして競技運営では大会当日はもちろんのこと、コースの下見、キャプテン会議、さらに競技前日のコースチェックと、天野弓子競技担当委員長を始めとする委員の皆様、感謝申し上げます。

一方、開催倶楽部としての運営面における心配は、昨年の第1回大会で見られたように、男子倶楽部対抗に匹敵する多くの応援者への対応でした。駐車券発行による制限や、選手と倶楽部役員以外のレストラン利用禁止等、大

庭園のように整備し  
お客様に安らぎを

「コースは美しくあるべき」との信条から、ホール間の樹木の除草刈りをはじめ、傾斜地から丘のラフまで刈り込んでいます。乗用の刈り込み機は入れず、肩に担いでの手刈りです。ひとつのホールが丸1日の作業で、27ホールを毎日続けます。選手の皆様はこの美観を喜んでいただき、苦勞も報われました。(青梅GC・田中コース課長)



大会会長の佐藤敏明KGA常務理事。

ベストスコア賞の杉本てい子選手(相武CC)。



開催倶楽部、青梅GCの代表選手と関係者の皆様。



1位 小田原ゴルフ倶楽部松田コース / 331



2位 大相模カントリークラブ / 335



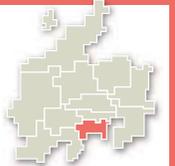
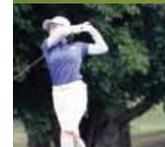
3位 平塚富士見カントリークラブ / 339



4位 東名厚木カントリー倶楽部 / 339



4強の争い。  
昨年と同じ混戦に……。



横浜カントリー倶楽部  
コース  
日本女子オープン  
の開催を控えて



昨年は本競技が発足し、ゴルフ史に新たな1ページを刻むこととなった記念すべき競技となりました。

東日本大震災はゴルフ界においても、国内競技の中止や延期が続き、日本中が自粛ムードの中で推移し、ようやく復興支援活動が軌道にのり、競技再開となり今日に至っているのは周知の通りでございます。

この様な状況下で18倶楽部の選手の方々へ、心身ともにコンディションを整えるのにご苦労され、競技に臨まれたことと存じます。

第2回目の関東女子倶楽部対抗神奈川県ブロック予選競技は、昨年開場50周年を迎えました当横浜CC西コースで開催しました。昨年より17日も早い梅雨入りとなり、天候が心配されましたが、プレイには最適な一日となりました。

来年9月末に日本女子オープンゴルフ選手権競技の開催が決定していることもあり、そのコースでのブロック代表

の4枠を目指し、熱い戦いが繰り広げられた予選競技となりました。

競技成績は昨

年決勝進出を果たした4チームのうち3チームが同じ倶楽部であり、1位は予選競技2連覇となる小田原GC松田コース、2位は昨年4位の大相模CC、3位は昨年2位の平塚富士見CC、そして最後の決勝進出枠である4位は、昨年1打差で惜しくも決勝進出を逃した東名厚木CCが雪辱を果たし、出場権を獲得しました。

本競技の開催にあたり、東日本大震災により被災された方々の状況を考慮し、応援席の設営や倶楽部旗掲揚等については、華美にならないよう心掛けました。

各倶楽部の応援もご熱心で、多数の方々にお越しいただき、本競技を盛会裡に終えることができましたことは、松本富夫大会会長を始めとする橋本競技担当委員長他、競技委員ならびに運営委員の方々のご尽力の賜と感謝申し上げます。

(横浜CC支配人・中本岩男)

- 天候曇り 平均気温20.9度(最高24.5度、最低18.5度) 南の風 平均風速2.6m/s
- グリーンコンディション スピット10.2F
- コンバクション11
- 6043Y P 72

静岡ブロック予選競技 決勝進出倶楽部



1位 キヤツビゴルフクラブ / 329



2位 裾野カンツリー倶楽部 / 336



ONE FOR ALL.  
レディースパワー  
恐るべし!



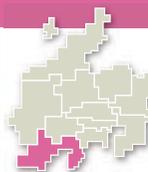
朝のチームミーティング(右)からスタートへ。



開催倶楽部、朝霧ジャンボリーGCの代表選手と関係者の皆様。

静岡ブロック

平成29年6月10日(金)



朝霧ジャンボリーゴルフクラブ 甲斐・駿河コース  
2年目にして早くも10倶楽部参加  
隆盛一直線! 熱気溢れる静岡県予選



昨年から始まった関東女子倶楽部対抗。初年度のブロック予選競技は山梨県、静岡県、長野県の3県合同でした。甲斐駒CCに集まったのは21倶楽部で、静岡県からは6倶楽部が参加しています。

静岡県だけで10倶楽部が参加した2年目の今年、1県だけのブロック予選競技開催となり、朝霧ジャンボリーGCがその節目の試合を担うことになり、張り切った次第です。

3週間前には倶楽部対抗男子の静岡ブロック予選競技を終えたばかりで、その勢いと経験を活かしながら手はずを整えました。コースコンディションやグリーンについては、KGAの役員各位から「完璧な仕上がり」と太鼓判を頂戴し、関係者一同胸をなで下ろしました。

もっとも気がかりなのは、梅雨時期特有の深い霧です。霧がかかると選手の実力を、存分に発揮していただくのが難しくなってしまう。開催当日の朝まで気がめえました。

幸いにも曇りながらもなんとか1日持ちそうな天気で明け、8時の定刻、次々と選手はスタートしました。午後遅くなつてから弱い霧雨に変わりましたが、滞りなく終了できたことは、KGA役員各位始め、選手の皆様の熱意に負うところが大きいと思います。



女子ゴルファーの熱心さには感服しました。指定練習日はもちろん、一般の営業日にも多数お見えになり、じっくり下調べをされました。この情熱があれば今後、ますます隆盛していくのは間違いないでしょう。まさに「レディースパワー恐るべし!」と言えます。

ますますのご発展を、心から期待します。(朝霧ジャンボリーGC取締役 支配人・江頭一男)

- 天候曇り 平均気温16.4度 平均湿度98.9%
- 平均風速0.7m/s 南西の風
- ベントクリの刈り高3.6mm スレット10.8F
- 全長5984Y P.72



朝霧ジャンボリーGCの前嶋社長の乾杯の音頭からは、一転して球宴の華やかに。



右から/スコアの確認、提出、そして結果が掲示されるまで。各選手の表情は真剣そのもの。

### 開催2回目で女子倶楽部対抗は “ALL関東”のビッグな祭典に

東日本大震災の後、人々は優しくなったようだ。A.CのテレビCMの「思いは誰にも見えないけど、思いやりは誰にでも見える」は、今回の関東女子倶楽部対抗でもあった。

途中、雨が降ってきた時、他倶楽部の選手に傘を差し出し、相合い傘でなごやかに歩く女子選手がいた。  
おそろく応援団も、競技の見やすい場所を譲ったり、試合経過の情報を、お互いに交換し合っていたのではない。

競技の発展は、ただ規模が大きくなることではない。参加者の全員が感動するような、心のソフトウエアが組み込まれていなくてはならない。  
関東女子倶楽部対抗は第2回目にして、すでに関東のビッグイベントに成長したようだ。



**開** 催倶楽部のシードで、ホームコースでの決勝競技に出場した相模原GC。「ブロック予選競技からは今後、いつ決勝に進出できるか……」は謙遜だろうが「喜びを素直に表し、ウェアはランパンです」とのこと。スタートでコースに最敬礼は好印象。



**ヴ** ィンテージGCのウェアは、スカートありパンツあり。ジョン・デイリープロ愛用の“ラウドマウス”で、パンツは男性用をリフォーム。



**ひ** とときわ目立つカラフルなウェアは早月GC佐野コース。「チームお揃いで購入した翌日に、横峯さくらプロが同じウェアでツアーに優勝しました。縁起がいいと、全員大喜びでした」



**背** 中に「まけないぞ！ニッポン、がんばろう！栃木」をプリントした芳賀CC。「栃木ブロック予選競技では、全倶楽部が「栃木」で、あまりアピールしませんでした」

撮影／塚越克一（KGA広報副委員長）、増田牧（KGA広報委員）



**記** 念写真の撮影が、会場の相模原GCのあちこちで見られた。来年の競技に向けての、発奮材料にもなりそう。この感動のために、明日から練習します！」



女子サッカーの、なでしこジャパンの活躍が、連日報道された。復旧から復興へ、元気をもらえた。明るいニュースだった。

この関東女子倶楽部対抗に優勝した、成田東CCの4人の代表選手。野芝ジャパンにも、ちょっとイイ話がある。

式典が終わり、選手も関係者もみんな帰って、がらんとした相模原GCの玄関ロビーのこと。インタビューを受けた代表選手の4人は、健闘を讃えあって笑い、でも涙が止めどなく溢れていた。



**ラ** ンチ・グランプリを競うとしたら、文句なしの優勝は桜GCだろう。ブランド米のおにぎり、牛シャブ、朝採りたまごの厚焼きなどがテーブルにいっぱい。「朝の3時から仕込みました。食欲のない選手には、そうめんも用意しています」



**相** 模原GC西コースの1番ホールには、見事なキウィの日除け棚がある。たわわに実って美味しそうだが「収穫時期になると、いつの間にかなくなります」とキャディーさん。倶楽部では「お土産としてご自由にお持ち下さい」とのこと。

# Strokes

KGAトピックス



撮影者の西岡富士雄さんは、東京で歯科医院を開業。撮影はプロ級の腕前で、風物詩も添えられる。掲載のシンテツポウユリは、夏から初秋が開花の再盛期。

## なごみの美術コーナー

相模原GCのロビーで、西岡富士雄会員の撮影した自然の花・野鳥などの作品が常設展示されている。その見事さに、

関東女子倶楽部對抗の参加者の足が止まった。また会報にも「自然のアルバム」として連載されている。まさに芸術の秋。



赤ちゃんに癒され、みんなこの笑顔に。

**ママと一緒に 倶楽部對抗の応援に?**  
茨城第1プロック予選競技が開催された、筑波CCでの楽屋裏のこと。食堂スタッフが、生まれて間もない赤ちゃんを連れて訪問し、皆さんと旧交を温めていた。  
ママは古庄瞳さんで、産休中に倶楽部の応援に来られたとのこと。瞳さんは筑波CC所属の、古庄紀彦プロの奥様。4月に誕生した、初めてのお嬢さんを連れての応援だった。おそらく関東倶楽部對抗史上、最年少記録のギャラリーになるのでは？



**緊急避難時でもこれは禁止!**  
風で吹き込む豪雨を避けたため、乗用カートも傘をさして走行中。珍しい乗り物に思えて、ちょっとユーモラス。ただし手足や用具がはみ出すのは違反!



大道寺四郎理事(左)と永原支配人(右)



掛川隆司君。



キャリアに満載で荷物運び。

前泊で「昔なら4時間以上、今は2時間です」  
前年優勝の袖ヶ浦CCは、大道寺四郎理事、永原支配人らを中心とした応援団で、気合い満々だった。

## 揃いのチームウェアで「がんばれー、男子ー」

男子、女子が揃って倶楽部對抗決勝競技に出場したのは、わずか3倶楽部に過ぎない。

千葉CCは昨年、女子が決勝に進出したものの、最多勝(8勝)。プロック予選競技が開始された昭和38年以降の男子は、5打差で涙を飲んだ。今年はその逆で、女子チームが応援に……。

「背中の絵柄は手縫いの刺繍です。これを着て、女子決勝競技に出たかったなー」  
来年があります!



女子決勝競技でないのが残念。



「長男はもう、クラブを振り回しています。」

## 栃木のゴルフ一家に 新たなメンバー誕生

成21年度の関東倶楽部對抗で、藤城さんファミリーとお会いしたのは2年前、お久しぶり!  
おや、ママに抱っこされて、赤ちゃんがスヤスヤ眠っている。生まれたばかりの、次男のデビューです。



今年

2年前

そのうち次男も揃って、親子三代でゴルフアに……(藤城ママ)  
サラブレッド兄弟の将来の活躍が、今から楽しみ。

## 応援ブリスは交歓の場 終日大盛況

サンヒルズCCのカート置き場に設置された応援ブリスは、途中、降雨による中断もあつて終日大賑わい。横長のアーケードのようなレイアウトで、左右に並ぶ各倶楽部席におじゃますると、まるでパーティーのよう。

「さすがに競技中の選手はあまり昼食を摂りません。」



“おふくろの味”も人気。



## ニラとモヤシの中華そば 杏仁豆腐も絶品!

又那年料理長は、中華ひと筋29年。サンヒルズCC名物の「ニラとモヤシの中華そば」は、ピリ辛風味。栃木県産の新鮮なニラをたっぷり使い、モヤシはヒゲを切り落としてある丁寧な仕事。シャキシャキの野菜と豆板醬で炒めたひき肉が、細いストレート麺にからみ、じゃあじゃあ麺風に仕立ててある。「宇都宮はギョウザ・中華の街ですから、日々、真剣勝負です」(菅又料理長)



中華メニューセットの杏仁豆腐は、料理長手づくりの超美味!



from

# Kanto Golf Association

## 広報委員

**塚原 裕広**広報委員長(ザ・オーシャンCC)  
エンジョイ！ ゴルフは老若男女、  
誰でも技量に関係なく楽しめます。



**塚越克一**広報副委員長(金之台CC)  
人生です。現在生涯ラウンド3100回、すべ  
て記録して保存しています。健康維持の源  
です。ゴルフに感謝です。



**西田美千子**さん(東千葉CC)  
生涯続けたい人生最高の友です。ゴルフを  
マスターしたと思った翌日には、また振り出  
しに戻ることも。人生の伴侶でもあります。



**舟橋一芳**さん(芳賀CC)  
心・技・体。武道においても大切にされて  
いる課題を常に持ち、あくまでも個人の責  
任を問うスポーツである。



**本條 強**さん(越生GC)  
私にとってゴルフとは「一期一会」。人との出  
会い、コースの体験、天候、そして今打つ1打。  
すべて一度だけの貴重な瞬間を大切に。



**増田 収**さん(大相模CC)  
不安と期待が入り交じったス  
ポーツ、それがゴルフ。



## KGAGOLFER'S NEWS

№107

平成23年9月20日発行  
KGAGOLFER'S NEWS No.107

発行所/関東ゴルフ連盟  
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目1番11号  
銀座SCビル4階  
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008  
ウェブサイト [www.kga.gr.jp](http://www.kga.gr.jp)  
発行人/竹田恒正 編集/広報委員会

## 編集後記

関東倶楽部対抗と、関東女子倶楽部対抗～報知杯～の、  
特集号をお届けします。男女の両決勝競技とも、一時雨と  
天候には恵まれませんでしたが、雨雲をも吹き飛ばすかの  
選手の皆様の奮闘ぶりに、心から敬意を表します。

また、各地区ブロック予選競技の写真撮影およびレポ  
ートは、開催倶楽部様が、自ら取材されたものを掲載して  
おります。ご協力を深く感謝申し上げます。

関東ゴルフ連盟加盟の全倶楽部の祭典は、代表選手のみ  
ならず、極めて多くの皆様に参加されました。本来なら個々  
にご挨拶させていただくところですが、この場をお借りし  
て御礼申し上げます。(KGA広報委員会委員長 塚原 裕)

## 競技委員 (50音順)

**内藤正幸**競技委員長(桜ヶ丘CC)  
自立精神を鍛える。



**橋本泰子**大会担当副競技委員長  
(CC・ザ・レイクス)  
お楽しみ！



**阿部淳子**さん(桜ヶ丘CC)  
楽しい人生の伴侶ですが、唯一、思うとおり  
にならない伴侶です。



**天野弓子**さん(鶴舞CC)  
人生の友です。



**荒井抹恵**さん(湘南シーサイドCC)  
人生の半分以上、ゴルフに明け暮れた今  
では、競技委員としてがんばっています。



**大野純子**さん(皐月GC鹿沼コース)  
過去を振り返れば、人間修業に不可欠なも  
の。これからは生きるためのエネルギー！  
ゴルフのない人生はもう考えられない。



**木村美代子**さん(嵐山CC)  
仲間との出会い、私の人生の  
半分。



**黒野美奈**さん(キングフィールズGC)  
努力、忍耐、気合い。  
一生を通して学ぶプチ哲学。



**鈴木 淳**さん(東京GC)  
若い頃はとにかくプレーして楽しい……それがゴルフでし  
た。今はゴルフの奥深さを味わっています。



トイレに女性を幸せにする神様がいるように、  
ゴルフの神様も木陰でプレーヤーを見守っています。  
審判、ジャッジ、レフェリーなどがないゴルフでは、  
プレーヤー自身がルールを裁定します。  
その解釈や判断に困れば競技委員が  
駆けつけますが、処置はプレーヤーが実行し、  
競技委員はアドバイザー役なのです。  
広報委員もまた競技の演出家ではなく、  
名演技の記録役に過ぎません。  
ゴルフとは、不思議なゲームです。  
あなたにとっては？



あなたにとつて  
KGA競技委員・広報委員の皆様へ



**近藤征江**さん(嵐山CC)  
健康保持。



**柴田章江**さん(浦和GC)  
人としての謙虚さ、やさしさを  
教えてくれたものです。



**多勢りさ**さん(スプリングフィールズGC)  
夫婦で家族で、また仲間とスポーツを通じて  
楽しい時間を過ごせるものです。



**津野典子**さん(カバヤGC)  
倶楽部対抗に出場して変わったこと。「自分の  
ためのゴルフ」から「皆のためにがんばるゴ  
ルフ」へ。



**松野信子**さん(東松山CC)  
人生の楽しみのひとつです。



## 空のウィスキー樽に残る 賢者の心意気

背筋をしゃんと伸ばして、今日の混迷極まる日本まで見通していたかの明治男、白洲次郎。

原則を貫く生き様は生涯変らず、世間では実業家、外交官、そしてゴルフの頑固オヤジとして知られている。白洲次郎を知る3人の方々に、お話をおうかがいする機会があった。

関東ゴルフ連盟常務理事の廣幡忠淳氏は、本誌の連載『常務理事対談』で、塚原裕広報委員長に、

白洲との思い出を語った。よく怒られましたよ、と。

「駐車の方が悪ければたちまち呼び出され、友人は『立ちション』を見つかつて追い出され、でも英国仕込みの紳士でありながら、服装などでは人を判断しませんでした。リ

ゾートゴルフなんだから、気楽な格好でいい」と慶応義塾大学時代はゴルフ部に籍を置き、夏休みには軽井沢GCで白洲と接していた吉川英明氏は、白洲の温厚な顔を懐かしむ。

「口やかましい人ではありません。従業員と一緒に草むしりをしたり、酒席にも顔を見せたぞうです。私たち親がかりの学生は肩身が狭く、



白洲さんの気配を感じただけで、避けていました」(笑)

娘婿の関係にある牧山圭男氏は、家族にしか見せなかったであろう、普段の白洲をよく知る。「高齢になっても少年の心を失わず、孫に肩もみをされながらも、友だち同士のように付き合っていました。ゴルフに行くとなると、3人ならポルシェの狭い後部座席に私を押し込め、自ら運転を楽しんでいました。おそらく岳父は、私を『愛娘を奪った憎い男』と見ていたのでしょう」(笑)

少年というより、子どもっぽいエピソードもある。英国からマッカランが樽のまま贈られ、喜んだ白洲は友人や近所におすそ分け。巨大な樽はたちまち空となり……。

「あーあ、自分用に少し残しておけばよかったと、ぶつぶつ言っていました。一緒に飲みたかったなり、ゴルフもまた、しかなかったです」

白洲次郎の声が聞こえてきた。

「PLAY FAST！」

Play  
fast  
Jim Shimizu

早くやろうぜ。—白洲次郎  
◎関東ゴルフ連盟